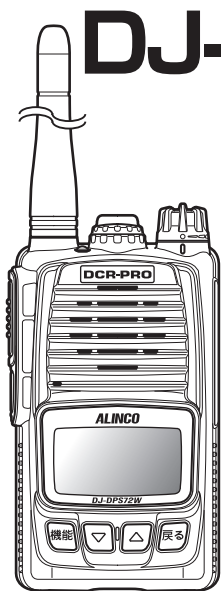


デジタル簡易無線機（総務省技術基準適合品）

AMBE 方式 / Bluetooth Module XE1134 内蔵

無線局種別コード：3R/3T（登録局）

専用スマートフォンアプリ無線対応



DJ-DPS72W

取扱説明書

<注意>

- ・本製品をご利用になるためには、無線局の登録申請及び開設申請をする必要があります。同梱の申請書類をご参照ください。
登録申請手続きをしないで運用されますと不法無線局開設により罰則を受けます。
必ず登録状が手元に届いたのを確認してからご使用ください。
- ・音声圧縮（符号化）方式 AMBE+2™ 以外の無線機とは通話できません。
- ・Bluetooth ユニットを搭載しますがアプリ無線接続用です。別売のワイヤレスマイク類は本機ではお使いになれません。




アルインコデジタルトランシーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させるために、この取扱説明書を最後までお読みいただくようお願いいたします。アフターサービスなどについても記載しています。




本機は日本国内専用モデルです。海外では使用できません。
This product is intended for use only in Japan.

◆◆◆安全上のご注意◆◆◆

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的損害だけの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容が描かれています。
	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜く）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、もしくは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

免責事項について

下記について、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、弊社は一切責を負いません。

- 天災、人災、弊社の責任以外の火災、製品使用者の違法、故意、過失、取扱説明書の記載を守らない事を含む誤用、その他異常な条件下での使用により生じた事故と損害
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて生じる付随的な損害、不利益（通信できなかったことで生じた損失や事業の中断など）
- 本製品の保証点検・修理を受ける際に発生する取り外し、取り付け費用
- 弊社が関与していない接続機器やソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害
- 故障や修理のために喪失した個別の設定内容やチャンネルのデータ、表面に施された装飾やカスタマイズ用に使われた部品（ラベル類、圧着端子、ブラケット、ゴム足…）

 **警告****■使用環境・条件**

この製品を使用できるのは、日本国内の陸上と周辺海域のみです。上空、国外では使用できません。



電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。



内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。



航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院、介護・医療施設では絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、医療機器が故障・誤動作する原因となります。



この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。



この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。



この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元及び販売元はその責任を負うものではありません。



指定以外のオプション品や他社のアクセサリ製品を接続しないでください。故障の原因となります。特にアンテナは指定のもの以外を使用すると電波法に違反します。



本機の故障、電波環境や使用場所の状況などから通信できなかったことで発生した、逸失利益に対する責任は負いかねますのでご了承ください。



機種名、数字や記号が書かれたラベル類は、絶対に剥がしたり、他のシールなどで隠したり、貼り替えたりしないでください。技術適合の基準から外れ、違法無線機とみなされることがあります。



無線局の登録状の有効期限は5年です。登録状に不備がある場合や登録状を取得しない運用はしないでください。不法無線局となり、1年以下の懲役または100万円以下の罰金を課せられることとなります。

■ トランシーバー本体の取り扱いについて



イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。



トランシーバーは調整済みです。このトランシーバーをユーザーが改造、仕様変更することは法律で禁止されています。



直射日光があたる場所、車のヒーターの吹き出し口、調理台、ストーブなど高熱源の近くや温度が高くなる場所には絶対に放置しないでください。ケースや部品が変形・変色、発熱したり、火災の原因となることがあります。電池やマイクなどのアクセサリも同様です。特にリチウムイオンバッテリーパックは80℃を超えると発火の危険があります。



故意に水をかけたり、流水で洗ったり、マイクを外したままで使用したりしないでください。感電・故障の原因となります。外郭保護には条件があります。



近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。



本製品はガス及び発破現場の近くでは使わないでください。防爆仕様ではありません。静電気が発生して引火、爆発の危険性があります。

■ 充電器の取り扱いについて



ACアダプターはAC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



充電器の AC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。



ぬれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。



充電器の AC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。



充電器や AC アダプターの刃に、ホコリが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。トラッキング現象による火災を防ぐため、コンセント周りは定期的に清掃してください。

■異常時の処置について



以下の場合、すぐ本体の電源を切って、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービスセンターにご連絡ください。お客様による修理は法令により禁止されていますので、絶対におやめください。



- 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- 落としたり、ケースを破損したりしたとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- AC アダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）



屋外での使用時に雷が鳴り出したら、急いで安全な場所に避難してください。充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いて、雷が止むまでお待ちください。なお、本製品は雷に対する保護や保証はいたしておりません。

■保守・点検



本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。本機に内蔵されている Bluetooth Module (XE1134) の分解、改造をすることは法律で禁止されています。

注意

■使用環境・条件



テレビやラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。



湿度の高い場所、ホコリの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして故障やけがの原因となることがあります。



CH15は通話チャンネルではありません。呼び出し専用です。
CH15での話し方の例：
・「〇Xさん、聞こえますか?」「はい」「CH20に移ってください。」「了解です。」

■トランシーバー本体の取り扱いについて



アンテナを誤って目にささないよう注意してください。



イヤホン / マイクロホン端子には指定のオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。



長期間で使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を切り、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。



アンテナを持って本体を持ち運んだり、振り回したり、投げたりしないでください。けがや故障、破損の原因になります。



ベルトクリップは体の横または背中に装着して、イヤホンマイクのケーブルも余分な長さを束ねて固定してください。かがんだときにマイクプラグやアンテナにストレスが掛かったり、ケーブル類を引っ掛けたりすると故障の原因となります。



スピーカーやマイク穴をステッカーやラベルなどでふさがないでください。音を拾わなくなり、内蔵スピーカーが故障する原因となります。



スピーカーやマイク穴の防水クロスをはがしたり、別のシールをはらないでください。浸水や音質不良など故障の原因となります。

■充電器の取り扱いについて



充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。



熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検



お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を切り、バッテリーを取外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。



汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質するおそれがあります。美観上以外にトランシーバーを長く正常にお使いいただくために定期的な清掃は大変有効です。

■廃棄



廃局届を管轄の総合通信局に提出してください。手続きや書類は総合通信局のホームページをご覧ください。手続きをしないと電波利用料が請求される、譲渡した人の登録手続きができないなどのトラブルの原因となります。廃棄方法はラジオなどの小型家電と同じです。バッテリーパックはリサイクル資源です。再利用しますので、廃棄しないでバッテリーパック回収協力店へご持参ください。

■ 運転中の無線機の使用について



運転中に携帯型無線機を手を持って操作しないでください。このような行為は運転中の携帯電話使用と同様に罰せられます。無線機の運用は必ず安全な場所に停車してから行ってください。ただし、スピーカーマイクでの通話は認められています。



外部に音が聞こえないような状態にして運転しないでください。外部アンプや、大型スピーカーをつないで周りの音が聞こえないような大音量で受信したり、耳を完全に覆うタイプのヘッドホンを使ったりすると罰せられることがあります。一部の地方自治体では運転中にイヤホン・ヘッドホン類を使用すること自体を規制していますので、ご不明な点は最寄りの警察署などにお尋ねください。



無線機をベルトクリップなどで体に装着して運転しないでください。アンテナや付属品が引っ掛かり、運転の支障となることがあります。そちらに注意を引かれると前方不注意の原因となります。

■ 外郭保護性能について

本機は設計段階で外郭保護等級 IP64/65/67/68 規格の耐塵防水試験に合格しており、適合するアクセサリ、アンテナ、バッテリーパックなどを正しく装着するなど指定の条件を満たしていれば、水周りやホコリっぽい環境の中でお使いになっても故障しにくい構造になっています。ただし防塵、防水試験には条件があり、完全な防水を保証するものではありません。流水洗浄や条件を超える水没などは故障の原因になります。金属性、油性、酸や塩分・化学物質を含むなど、特殊な粉塵や液体が製品に使われている素材や部品に付着すると腐食、劣化や故障の原因になりますが、保証の対象外となります。また、外郭保護性能の有無にかかわらず無線機は汚れたり濡れたりしたときはすぐに汚れを落としてから乾いた布で拭くなどのメンテナンスを心がけていただくのと長く正常な状態でお使いになります。

保護に使われているカバーやシールドの素材は経年劣化のため変質し、保護性能が低下します。弊社の外郭保護性能保証は製品の保証期間と同じとさせていただきます。保護が重要な場合は有償でメンテナンスを承ります。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。

耐久性能は米軍規格 MIL-810 の振動と衝撃規格で確認済です。衝撃は落下ではなく、急ブレーキや急発進時にかかる G (重力加速度) を想定した規格です。

- IP6X 耐塵：既定の条件下で塵やほこりが内部に入らないこと
- IPX4/5 耐飛沫・噴流：既定の条件の飛沫や噴流水を掛けても有害な影響が生じないこと
- IPX7 防浸：真水・静水に水深 1.0m の位置で 30 分間没しても有害な影響を生じないこと
- IPX8 防水：真水・静水に水深 1.5m の位置で 30 分間没しても有害な影響を生じないこと

Bluetooth® について



本機に内蔵している Bluetooth Module(XE1134) は総務省技術基準適合品です。分解、改造することは、法律でかく禁じられています。



電子レンジの近くで使うと電磁波の影響で通話できなくなることがあります。妨害を受けたときは電子レンジから離れてください。

Bluetooth 機能による電波干渉について

本機の Bluetooth 機能を使用するときは、以下についてご注意ください。Bluetooth に使用される 2.4GHz 帯では、電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局が運用されています。

- 本機の Bluetooth 機能を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、2.4GHz 帯のアマチュア無線局などが運用されていないことをご確認ください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetooth 機能をオフにしてください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターにご相談ください。

2.4GHz 現品表示記号の意味について

- 「2.4」 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備
 「FH」 : FHSS 方式
 「1」 : 想定干渉距離が 10 m 以下
 「--」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局の帯域を回避不可



Bluetooth の登録商標 / 著作権について

Bluetooth のワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アルインコ株式会社はこれらのライセンスに基づいて使用しています。なお、本文中では TM、® などのマークを省略しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複写 / 転用することは、禁止されています。

◆◆◆目次◆◆◆

安全上のご注意	2
目次	10
使用前のご注意	12
機能と特徴	14
1. お使いになる前に	15
付属品の確認	15
付属品の取付け方	16
2. 本体の名称と動作	22
3. 基本操作	25
4. 通信前のご注意	28
5. 通信方法	29
ユーザーコード通信	29
個別通信	31
6. 便利な機能	36
アプリ無線機能	36
簡易無線、アプリ無線中継機能	40
キーロック	40
モニター機能	41
バッテリーレベルアイコン	41
秘話通信	41
強化秘話通信	42
呼び出し用チャンネル CH15	42
プライベートチャンネル機能	42
スキャン機能	43
緊急通報機能	43
緊急動作	44
ショックセンサー機能	45

通話録音機能	46
短縮機能	47
子機間通話禁止機能	48
受信音質調整機能	49
受信低下通知機能	49
受信音量一定化機能	49
ノイズキャンセル機能	50
ノイズ抑制機能	51
VOX 動作	52
デュアルオペレーションモード	53
ショートメッセージ機能	54
エアクローンモード	55
ACSH(アクシュ)モード	57
ビジーアラーム	59
エンドピピ	59
接客モード	60
リセット	61
7. セットモード	62
セットモード一覧	62
セットモード基本操作	64
セットモード	65
8. 保守・参考	90
故障とお考えになる前に	90
メンテナンス	92
9. オプション一覧	94
10. 定格	96
11. 付録	97

◆◆◆ 使用前のご注意 ◆◆◆

■電波法上のご注意

- 本機はデジタル簡易無線登録局です。使用するにはあらかじめ、登録申請や開設届の提出が必要になります。
- 他局の通信を妨害したり、傍受した内容を他に漏らしたり、傍受した内容を無断で使用することは法律で固く禁じられており、違反すると罰せられます。
- 本機は日本国の河川湖沼を含む陸上、領海と接続水域、及び排他的経済水域内でお使いになれます。上空での使用は違法で罰せられます。規格の違いから、海外では使えません。
- 届け出た住所やお客様の名前が変わったり、廃局したり、他人への貸し出しをするときも届け出が必要です。詳しくは管轄の総合通信局におたずねください。

■航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、病院や医療介護施設、無線中継所など無線機器の使用が制限されている場所で使うと罰せられます。

■本機を複数台でご使用いただく場合、至近距離（10m程度が目安）で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、強い電波が影響し合って通話ができなくなることがあります。

■本機を分解、改造したり、本体背面に貼り付けてある証明ラベルを剥がして使用することは法律で固く禁じられています。

■高温、多湿、直射日光の当たるところ、ほこりの多い場所は避けてお使いください。

■通信のできる距離は周囲の状況によって大きく異なります。本機に採用されている電波は直進性が高く、間に構造物や地形などの障害物があると通信できる距離が短くなります。

■販売店で事前にプログラミングされている場合、本書に書かれた機能の一部は制限されていることがあります。詳しくは、プログラミングした販売店にお問い合わせください。

- 本体背面及び上面に貼られている黒いシールは剥がさないでください。防水性能を維持できなくなります。
- 本機の秘話機能は第三者に通信内容が聞かれる可能性を低くするものであり、無線の性質上、通信の秘匿性を保証するものではありません。
- 本機は米国 DVSI 社の開発した AMBE(Advanced Multi-Band Excitation) 方式による音声圧縮技術を採用し AMBE+2™ を使用した他のデジタル簡易無線 (種別コード: 3R/3T) との互換性を確保していますが、AMBE+2™ 以外の音声圧縮技術 (RALCWI 方式など) を使用したデジタルトランシーバーとの互換性はありません。


The AMBE+2™ voice compression software included in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. The user of this software is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the object code, or in any other way convert the object code into a human-readable form.

US Patent Nos.: #8,595,002, #8,359,197, #8,200,497, and #6,912,495.

■ Important

This product is permitted to use for business, leisure and hobby communications within Japanese territory and territorial-water only. Aviation use is strictly prohibited. A radio operator license is NOT required but a registration to authority is mandatory prior to use. Registration instruction is included. A Radio-user fee will be charged annually by a government agency. In case you change registered contact information such as address and name, you should report it to the authority. For any registration-related information, please contact your dealer or a regional Bureau of Telecommunications of the Ministry of General Affairs of Japan. Misuse violates the Radio Law of Japan and shall be subject to fine and/or punishment.

◆◆◆機能と特徴◆◆◆

- 2023年の351MHz帯チャンネル拡大に準拠した97ch対応（受信専用の上空15CH含む）のデジタル簡易無線機（登録局）です。
 - 専用スマートフォンアプリ（Air-InCom/Air-InCom Lite）と接続してAir-InCom/Air-InCom Lite対応の弊社製品と通信することができます。
 - 総務省技術基準適合品のBluetooth Module (XE1134) を内蔵しています。本機のBluetooth機能は専用スマートフォンアプリ（Air-InCom/Air-InCom Lite）にのみ対応します。
- 
- 業務でも、レジャーでも、目的を選ばず使えます。
 - パワフルな5W出力により、より広い通話エリアを確保できます。
 - 秘話通信により32,767通りから選べるコードが合致しないと通話ができない高い秘話性をもっています。また、弊社独自の強化秘話機能を使うことで、更に秘匿性を高めることができます。
 - 通常のユーザーコード通信に加えてグループ通信や相手を選択して通話することが可能な個別通信に対応しています。
 - 大音量700mWのオーディオ出力、ベル、キーロック、子機間通話禁止、バッテリーセーブ、VOX、オートパワーオフ、各種ビープ音やマイク感度の設定など定番の機能はもれなく採用しました。
 - 録音機能やノイズキャンセルに加えて、音声ガイダンスや短縮キーなど無線機をより便利にお使いいただける多彩な機能を搭載しています。
 - ほこりが多い環境や水回りの仕事に強いIP68相当の耐塵防水仕様です。

1

お使いになる前に

..... 付属品の確認

本製品には以下のものが付属しています。ご使用前に確認してください。

- 本体
- バッテリーパック EBP-198(7.2V 2200mAh)
- シングル充電スタンド EDC-326R
- AC アダプター EDC-215
- ベルトクリップ (装着済) EBC-46 ビス 2 本付
- ミドルアンテナ EA-247
- 簡易取扱説明書
- 申請書類一式
- 保証書

注意 保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号をお確かめの上、大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

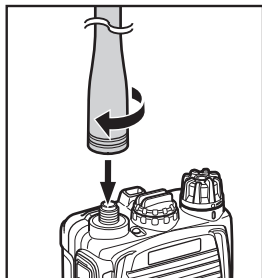
弊社純正、または弊社が認めたアクセサリ以外をご使用になって起きた不具合は製品保証の対象外です。アクセサリ専門メーカーの製品については、そのメーカーに直接お問い合わせください。
他社製品に起因する不具合は、弊社で修理や改造で対応することはできません。

..... 付属品の取付け方

■ アンテナの取付け方

アンテナの根元を持って時計方向（右）に回転が止まるまで回します。
外すときは反時計方向（左）に回します。

- 注意** ・ 市販されているアンテナ端子変換用コネクタには、この製品に適合しない形状のものがあります。
変換コネクタが正しく接触しているか確認してからお使いください。
- ・ 他社の無線機の付属品や最大出力が異なる無線機に付属するホイップアンテナを使うと、接触不良や耐入力の違いから発熱、送受信不良、故障の原因となる場合があります。



■ 外部アンテナの接続

参考

市販のデジタル簡易無線機用アンテナを接続することができます。
本体側のアンテナコネクタは SMA-J、アンテナ側が SMA-P 型です。
接続ケーブルや取付け金具を含めたアンテナのご購入は、無線機販売店にご相談ください。
標準付属品のホイップアンテナのスペアも販売店でお求めになれます。

注意

・ 本機に接続できるアンテナは、本機の技術基準適合証明を受ける際にあらかじめ弊社が届け出をした形状と利得のアンテナに限られます。新しく発売される市販品には対応しない場合があります。アンテナについては弊社 HP の本機の製品紹介ページでご説明しています。

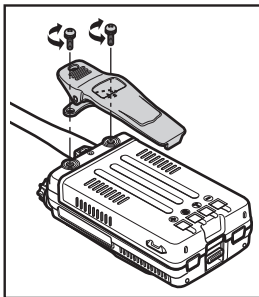
■ ベルトクリップについて

ベルトクリップは取付けた状態で梱包されています。ベルトクリップを外すときはドライバーでネジを反時計方向に回します。

(+ ドライバー No2 が必要です)

注意 定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。ベルトクリップは消耗品です。スペア部品として販売していますので、販売店にご相談ください。
標準付属品以外のネジを使うと無線機本体が破損します。絶対に規格以外のネジは使わないでください。(ネジ規格：M3 × 6mm)

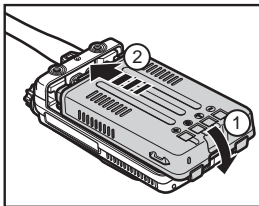
ベルトクリップ EBC-46
(ベルトクリップ 1 個、ネジ 2 本)



■ バッテリーパックの取付け / 取外し

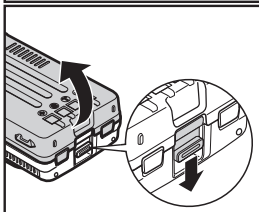
● バッテリーパックの取付け方

バッテリーパックを本体のツメに合わせ、バッテリーパックを矢印の方向に押し込んでしっかりと固定します。ロックレバーが固定されているか確認します。



● バッテリーパックの取外し方

本体のロックレバーを押してバッテリーパックをスライドさせて取外します。

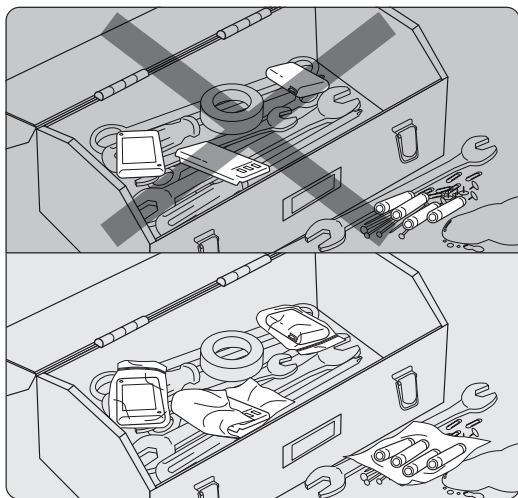


注意 スライドさせる際は、指やツメなどを傷めないよう、注意してください。

■電池類の持ち運びについて

乾電池やバッテリーパックを持ち運ぶときは、以下のことにご注意ください。端子をショートさせると大電流が流れて火災、火傷の原因になります。

1.5Vの単三乾電池ですら数分程度で、90℃以上の温度になるので十分な注意が必要です。



- 金属製のもの（ネックレス、ブレスレット、キー…）が入ったバッグや金属製のケース（工具箱…）などに直接入れないでください。
- 雨や雪、波しぶきなどが直接かかるような状態では持ち運ばないでください。真水や塩水は電気を通します。
- 電池を持ち運んだり保管する場合は、必ず1個ずつビニール袋にいれたり布で包むなどしてショートしないようにしてください。
- 長期間使用しない場合は電池を無線機から外して、直射日光が当たらない、できるだけ湿度の低い冷暗所で同様の配慮をしたうえで保管してください。充電については別途充電器の項目でご説明しています。
- 廃棄のため電池類を保管する場合は必ず端子部分にセロテープを貼るなどしてショートしないようにしてください。

■ バッテリーパックの使用上の注意

次の注意事項を守らないと、発煙や発火の原因となります。

- 指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、直ちに充電を中止してください。
充電をつづけると、発煙や発火を起こす危険性があります。
- バッテリーパックは消耗品で、製品保証の対象ではありません。規定の時間充電しても使用時間が著しく短くなった場合は寿命です。リチウムイオンバッテリーはこの状態で使用をつづけると、発煙や発火のリスクがあります。
- リチウムイオンバッテリーは正しく使っても3年程度で劣化が進みます。無線機の性能を十分に活用するためにも、長くて5年以内に新しいバッテリーにご交換ください。
- 無線機本体の電源を入れた状態で、指定時間以上充電をしないでください。繰り返し行うことにより、発煙や発火の原因となります。

注意 ・ バッテリーパックは出荷時には十分に充電されておりません。お買い上げ後にフル充電してからご使用ください。

- 充電は 0℃～+45℃の温度範囲内で行ってください。
- バッテリーパックの改造、分解、火中・水中への投入は絶対にしないでください。発熱・破裂などの可能性もあり、大変危険です。
- バッテリーパックの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や、バッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。
- 必要以上の長時間の充電（過充電）はバッテリーの性能を低下させますのでおやめください。
- バッテリーパックの保存は、-10℃～+45℃の温度範囲で湿度が低く乾燥した場所を選んでください。それ以外の温度や極端に湿度の高い所では、バッテリーの液漏れや、金属部分のサビの原因になりますので避けてください。

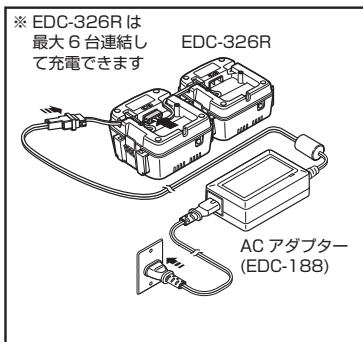
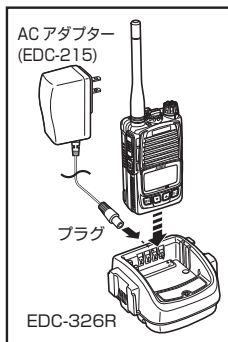


参考

古くなったバッテリーパックはテープ（セロハンテープ、ビニールテープ、ガムテープなど）を貼り、電流が流れない状態（絶縁）にしてからお住まいの自治体の指示に従ってリサイクルしていただくか、本書に記載のサービスセンターへご相談ください。

■ リチウムイオンバッテリーパックの充電方法

- 注意** ・ バッテリーパックをお買い上げいただいたとき、または長い間使用しなかったときは、フル充電してからお使いください。
- ・ 専用充電スタンドでしか充電できません。
 - ・ 充電するときは電源を切ってください。電源を入れたままでは正しく充電できず、バッテリーパックの劣化を早めることとなります。
 - ・ 本機専用の AC アダプターと充電スタンド以外の使用は危険ですから絶対におやめください。



(AC アダプターの形状は実物とは異なる場合があります。)

充電スタンドと AC アダプターを図のように接続してバッテリーパックを充電します。

充電スタンドのランプが赤色に点灯し、充電が完了するとランプが緑色になります。充電時間は空のバッテリーパックをフル充電する場合、EBP-198 は約 3 時間です。充電時間は周囲の温度で変動します。充電スタンドのランプが赤色に点滅した場合は正常に充電が完了していません。無線機の電源が入っている場合は電源を切って充電するか、バッテリーパックを無線機から外してバッテリーパック単体で充電してください。

非常時の備蓄用等でバッテリーパックを装着した状態で長期保管するときは、週に一度は本体から外して液漏れや放電していないことを確かめてください。

待機電流のためバッテリーパックは徐々に放電します。

DJ-DPS50 をお使いの場合、既にお持ちの連結充電器 (EDC-196R と EDC-175) に EDC-326R を接続して本機の充電ができます。このとき、EDC-196R と EDC-326R は 4 台までしか接続できません。新しい AC アダプター (EDC-188) をお求めになれば、EDC-196R と EDC-326R は最多 6 台まで自由に組み合わせることができます。

※バッテリーパックに関する重要な説明です。このページは必ずお読みください。


注意

- ・長時間充電したままにしておくと、バッテリーパックを劣化させることがあります。(過充電)
- ・バッテリー及び充電器の充電端子はときどき乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。(この際に充電端子を変形させないようにご注意ください。)
- ・弊社のバッテリーパックは対応する弊社製品専用です。市販や他社製の充電器やアダプターなどで充電すると故障や事故の原因となるので絶対に充電しないでください。
- ・充電中、必ず本機の電源スイッチを切ってください。本機の電源が入ったままで充電すると、充電器の赤ランプが点滅し充電できないことがあります。
- ・バッテリーパックは車内や窓際など直射日光が当たる場所、ヒーターなどの熱源の近くには絶対に放置しないでください。冬季でも温風や直射日光が当たると発火の可能性がある温度まで上昇することがあります。



リチウムイオンバッテリーの保存で最も劣化しやすいのは放電状態、次に満充電状態です。長期保存するときは表示の電池マークが 1 目盛減っているのを目安にして、本体から外して乾いた冷暗所に保管してください。1 か月を目安に本体に装着して状態を確認、電池マークが空になったら 1 時間程度補充充電してください。

リチウム系充電電池は使用・保存状態にかかわらず、数年で劣化する性質を持っており、特に長期使用は発熱、発火の危険が高くなります。3 年を目安、長くても 5 年以内に新品にご交換ください。

重要 ■ EBP-198 は無線機に正しく装着された場合にのみ IP68 相当の耐塵防水保護が機能します。故障に直結するのでバッテリーパックだけの状態では、絶対に水に濡らさないでください。

2

本体の名称と動作

■ 本体



名称	機能	
PTT キー	押すと送信します。離すと受信に戻ります。	
短縮キー	よく使う機能を割り当てることができます。(P.47)	
インジケータ	アプリ無線とデジタル簡易無線共通	緑点灯：受信中 赤点灯：送信中 水色点滅：短縮キーで音量固定中 白フラッシュ：緊急通報送信または受信 黄フラッシュ：電池電圧低下
	デジタル簡易無線として使用した時	紫点灯接客モード動作中 紫フラッシュ：イヤホン断線検知 青フラッシュ：呼び出しあり（ベル機能動作時） / 未読メッセージあり
	アプリ無線として使用した時	青早い点滅：ペアリング中 青早い2回点滅：Bluetooth 未接続状態 青遅い点滅：Bluetooth 接続状態 水色点灯：アプリ無線受信中、ガイダンス中 黄点灯：アプリ無線送信中 水色緑交互点灯：アプリ無線、デジタル簡易無線同時受信中 黄赤交互点灯：アプリ無線、デジタル簡易無線同時送信中

名称		機能
キーボード	機能キー	押すとセットモードになります。 項目の設定にも使います。
	戻るキー	セットモードの操作に使います。個別通信時には個別→グループ→全局と通信相手を切り替えます。 長押しでキーロック設定 / 解除ができます。また、セットモードで他の機能に割り当てすることもできます。
	▼ / ▲キー	チャンネル変更、各設定項目の UP/DOWN セットモードで同時押しに短縮機能を割り当てることができます。

■【重要：必ずお読みください】

本機の初期状態と専用スマートフォンアプリ (Air-InCom/Air-InCom Lite) との接続について

本機は弊社専用スマートフォンアプリ (Air-InCom/Air-InCom Lite) を使用することを前提に設計されています。このため、本機の電源を入れるとすぐにペアリングモードとなりインジケータが青色で早い点滅を始めます。

・専用スマートフォンアプリ (Air-InCom/Air-InCom Lite) をお使いにならない場合は以下の操作をしてください。

1. 「機能」キーを押して [セットモード] を表示させる。
2. 「▼ / ▲」キーを押して「各種動作設定」を選択する。
3. 「機能」キーを押して [各種動作設定] メニューにする。
4. 「▼ / ▲」キーを押して「Bluetooth」を選択する。
5. 「機能」キーを押して [Bluetooth] メニューにする。
6. 「▼ / ▲」キーを押してオン表示をオフに変える。
7. 「戻る」キーを3回または、PTT を押して待ち受け画面に戻る。

Bluetooth アイコンとインジケータの青色点滅が消えたことを確認してください。

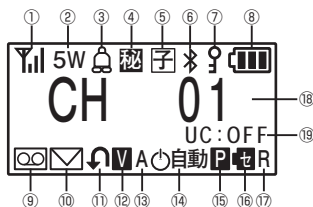


「戻る」キーを押しながら電源をオン / オフすることで Bluetooth のオン / オフがワンタッチで行うことができます。

・専用スマートフォンアプリ (Air-InCom/Air-InCom Lite) との Bluetooth 接続は P.36 のアプリ無線機能で説明しています。

初めて本機をお使いの時は、接続される前にご理解いただきたい基本操作の説明がありますので、引き続き本書をお読みください。

■ディスプレイ表示



説明		
①		受信した電波のレベルに応じて四段階に点灯します。送信時には別の送信アイコンが表示されます。
②	5W	送信出力レベルを表示します。(P.70)
③		着信があったことを知らせるベル機能設定時に点灯します。(P.73)
④	秘	秘話通信設定時に点灯します。(P.41)
⑤	子	子機間通話禁止機能で子機設定時に点灯します。(P.48)
⑥		Bluetooth 設定時に点灯します。(P.36)
⑦		キーロック動作時に点灯します。(P.40)
⑧		バッテリー残量を表示します。
⑨		未聴の録音データがあるときに点灯します。
⑩		未読のショートメッセージがあるときに点灯します。
⑪		コールバック機能設定時に点灯します。(P.71)
⑫	V	VOX 機能設定時に点灯します。(P.52)
⑬	A	Bluetooth 接続時の PTT 設定状態を表示します。(P.38)
⑭	自動	オートパワーオフ機能設定時に点灯します。(P.78)
⑮	P	プライベートチャンネル機能動作時に点灯します。(P.42)
⑯	セ	バッテリーセーブ機能設定時に点灯します。(P.78)
⑰	R	簡易無線、アプリ無線中継機能をオンにすると点灯します。(P.40)
⑱	CH 01	送信・受信チャンネル番号(周波数)や各設定内容を表示します。
⑲	UC:OFF	ユーザーコードや自局 ID、グループを表示します。

注意 ・セットモード「Sメーター表示」(P.76)をオンに設定すると①は受信時に一番左のアンテナマークのみ表示されるようになります。また、⑨～⑭のアイコンは表示されなくなります。

3

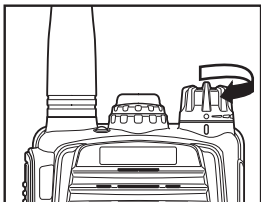
基本操作

■ 電源を入れる

電源 / 音量ツマミを時計方向にカチッと回して電源を入れます。

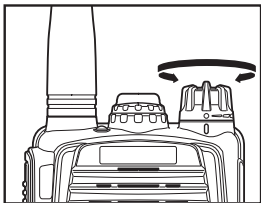


- キー操作の表記について本書の説明で「押します」とはキーを押した後すぐに離すことを指します。「約〇秒間押す」「長く押す」「長押しする」とは機能が動作するまで押し続けることを指します。



■ 音量を調整する

電源を入れてからツマミを回すと音量が調整できます。時計方向で大きくなり、反対に回すと小さくなります。音声ガイドでレベルを案内するので、この音声を目安に適切な音量に調整してください。イヤホン使用時はボリュームを最小にしておいて、ゆっくりボリュームを上げてください。



■ チャンネルを合わせる

待受画面で「▼/▲」キーを押し CH01 ~ CH82 の中から交信相手と同じチャンネルを選択します。キーを押し続けると連続してチャンネルが切替わります。



注意 ・ CH15 は呼び出し専用、CH26 ~ 30 と CH71 ~ 82 はデータ通信での使用が推奨されています。音声の通話はお控えください。



・「アプリ専用」と表示されたチャンネルはアプリ無線専用チャンネルです。詳しくは、36 ページの「アプリ無線機能」をご覧ください。

■受信する

信号を受信すると、受信した信号レベルに応じてディスプレイのアンテナが表示され、交信条件を満たしているとき音声聞こえるようになります。個別通信のときは相手局の個別 ID が表示されます。

重要 下記のような、インバーター内蔵の電気製品はノイズが発生して、受信障害になることがあります。

- *LED 照明
- *IH 式調理器具
- *ソーラー発電装置
- *DC-AC インバーターなどの車載機器

■送信する

「PTT」キーを押すと、インジケーターが赤色に点灯し送信します。

「PTT」キーを押したままで、マイクに向かって話します。マイクと口元は 5cm ほど離してください。

「PTT」キーを離すと受信待受状態に戻ります。

「PTT」キーを押してすぐ話すと初めの部分が伝わらない「頭切れ」が起こります。「PTT」キーを押すと鳴るピ音が終わってから話してください。

- 重要**
- ・マイクに向かって話すとき、声が大きすぎたり口元が近すぎたりすると歪み、声が小さいと相手が聞き取れなくなりますのでご注意ください。
 - ・本機は防水を施すため、内蔵マイクの手前に特殊な布製素材を装着しています。このため、内蔵マイクを使用したときと外部マイク等のアクセサリを使用したときで若干音質が変わって聞こえる場合がありますが、異常ではありません。
 - ・マイク穴をステッカーやラベルを貼ったり、手や指でふさがないでください。声を拾わなくなります。

■初めてお使いになる前に

本機は使い始めの手間を省くために3つの機能を採用しています。

① ACSH(アクシュ Auto Connect Shake Hands)

既に登録局を使用していて、買い増しした本機を同じ環境で使うときにお勧めする機能です。簡単な操作でお使いのチャンネルとユーザーコードを感知して自動設定します。複数でも一度に設定できます。

3R/3T 登録局であれば他社製でも ACSH しますが個別呼び出しと秘話が設定されていると機能しません。

詳しい操作は本書 P.57 をお読みください。

② エアクローン

DJ-DPS72W だけで新しい通話グループを作るとき、1台だけ設定を済ませれば、残りは簡単な操作ですべてを一度にまとめて無線でクローンできます。

DJ-DPS72W 同士でないとお使いになれませんが、ACSH がチャンネルとユーザーコードだけなのに対し、エアクローンはセットモードでカスタマイズした内容まで自動設定します。個別呼び出しや秘話設定もクローンします。

エアクローンは、誤操作などで通話できなくなった個体を復旧するのに一番簡単な方法でもあります。

クローンのもとになるマスター機を作るため、引き続き本書をお読みください。エアクローンの操作方法は P.55 でご説明しています。

③ PC 編集ソフト

別売のパソコン接続用ケーブル ERW-23 をお求めになれば、弊社が無償配布する PC ソフト「クローンユティリティ」を使って本機の設定と設定データの保存、編集、書き込みができます。ショートメッセージの内容の変更、チャンネル番号表示のカスタマイズ、リセットの禁止など、本体だけではできない操作も可能になります。

設定データの管理ができるので、多数の無線機を使用する法人ユーザーにぜひお使いいただきたい機能です。

詳しくは弊社電子事業部 HP の「ダウンロード」から「業務用無線機(簡易無線・デジタルトランシーバー)」の項目をご覧ください。

4

通信前のご注意

全てのデジタル簡易無線登録局には電波法に基づく下記の制限が設けられています。

キャリアセンス

通信中のチャンネルで送信操作を行うと、表示と音で警告し、送信できなくする機能です。ディスプレイに「CH 使用中」と表示されます。

先に通話中の人に妨害を与えないために設けられています。

・各種の選択通話設定（ユーザー・個別・秘話など）がされているとそのチャンネルが使われているかどうか分からず、キャリアセンスに気づかないことがあります。アンテナアイコンが表示されているときは声が出ていなくても先に通話中の人がいると判断できます。

送信時間制限装置

1 回の送信で連続して送信できる時間は、「5 分以内」と電波法で定められています。

連続した送信が 5 分を超えると自動的に送信を停止し、停止後 1 分間は送信できなくなります。応答する前に 3 秒以上の間を取るとこのタイマーはリセットされます。

チャンネルの独占や無駄な長話を防いでなるべく多くの人がチャンネルを共有して使えるようにするために設けられています。

送信時間制限が働く前に警告音を鳴らすことができます。(P.74)

また、送信残り 3 分前からディスプレイに残り送信時間を表示します。

通信の互換性について

本機は音声圧縮方式 AMBE + 2TM を採用した他社製の DCR 無線機と基本の音声通信（ユーザーコード・デジタル秘話通信を含む）はできますが、RALCWI 方式の無線機とは通話できません。AMBE 方式を採用する弊社製 DCR 同士では、機種が異なっても個別通信などの各種通信機能は共通で使えるように設定されています。

5

通信方法

本機で使用できる通話モードの概要と操作方法を紹介します。

重要 本機の基本操作

P.62 のセットモードの項目に、本機が持つ機能のカスタマイズ方法が記載されています。次の項目以降、「セットモードで〇〇を設定します」という説明が頻繁に出てきますが、全てこの操作が基本になるので、ここで使い方を憶えてください。以降、機能キーを押してセットモードに入ります、のような長い説明は省略します。

- ①電源を入れ、通話したいチャンネルに合わせます。
- ②機能キーを押します。「セットモード」が表示されます。
「▼/▲」キーを押して「〇〇設定」「〇〇機能」のようなメニューを選びます。
- ③もう一度「機能」キーを押すとサブメニュー画面になります。
もう一度「機能」キーを押すとその項目の設定値や機能の選択ができる設定画面になります。
- ④「▼/▲」キーで設定を切り替えます。項目によっては「機能」キーを押すこともあります。
そのようなときは画面に「変更」や「桁移動」のように説明が表示されます。
- ⑤「戻る」キーを押すと新しい設定を保持して、ひとつ前の画面に戻ります。
「PTT」キーを押すと確定して待受画面に戻ります。

※次のユーザーコードの手順を読みながら、この基本操作に慣れてください。

※設定したい項目がセットモードにない場合は、「拡張セットモード」もしくは「Bluetooth」がオフになっています。オンにする方法は「拡張セットモードの設定方法」(P.64)、セットモードの「Bluetooth」(P.84)をご参照ください。

..... ユーザーコード通信

通話チャンネルがユーザーごとに指定されない登録局では、他人の通話が聞こえる混信が必然的に起こります。この混信が聞こえないようフィルターするのがユーザーコード (UC) です。単にコードが合わない音声を鳴らさないだけで、秘話や混信自体をなくす機能ではありません。ユーザーコード設定していないトランシーバーではすべての通話が聞こえます。ユーザーコードはセットモード「ユーザーコードの設定」でオフ、001 ~ 511 の中から選べます。通話したいグループのメンバー全員に同じ番号を設定してください。



ユーザーコードとは特定小電力トランシーバーの「グループトーク」、業務やアマチュア無線の「トーンスケルチ」と似た機能です。初期状態では設定したユーザーコードは呼び出し用のCH15を除く全てのチャンネルに共通して登録されますが、セットモードで各チャンネルに個別に割り当ててもできます。

■ユーザーコード通信の手順

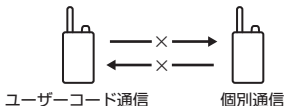
- ①チャンネルを合わせます。
 - ②「機能」キーを押します。「▼/▲」キーを押して「通信設定」を選びます。
 - ③もう一度「機能」キーを押して「ユーザーコード」を選びます。もう一度「機能」キーを押すと図のような表示になり、3桁のコードが選べます。
- [ユーザーコード]

001

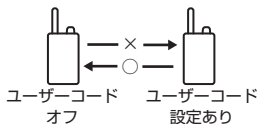
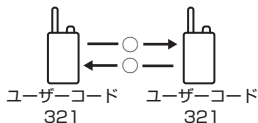
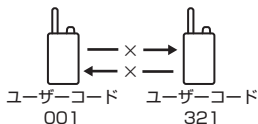
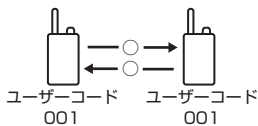
—機能— || —▼▲—
桁移動 変更
- ④「機能」キーを押すと桁が変えられます。「▼/▲」キーで好みの数字に合わせます。
 - ⑤「戻る」キーを押すとひとつ前の画面に戻ります。「PTT」キーを押すと確定して通信画面に戻ります。UCと設定したコードが運用画面に表示されます。
 - ⑥ユーザーコード画面で000とするとオフが表示され、ユーザーコード通信をしなくなり、UC：OFFが運用画面に表示されます。「戻る」キー長押しでもオフにできます。

注意

ユーザーコード通信と個別通信では通話できません、どちらかの通話方式に統一してお使いください。
設定しやすい001と511は多用されがちで混信が起きやすくなります。これらは避けて設定してください。



ユーザーコード通信



●●●●●●●●●● 個別通信 ●●●●●●●●●●

セットモードの「個別設定」→「個別通信動作」でオンを選択しているとき、この通信方式になります。

個別通信では、ユーザーコードが一致している複数の交信相手を個人 ID、グループ、全員のように指定して呼び出すことができます。



全員のユーザーコードがオフになっていても個別通信はできますが、前述のように便利な混信フィルター機能なので、ユーザーコードは設定してお使いになることをお勧めしています。

■ 個別通信の設定

- ①チャンネルを合わせます。
- ② P.29の説明に従いユーザーコードを設定します。
- ③セットモード「個別設定」の「個別通信動作」をオンにします。
- ④同じセットモードの「自局ID」を選び、自分のID番号を登録します。
- ⑤同じセットモードの「自局グループ」を選び、自分のグループ番号を登録します。
- ⑥同じセットモードの「通信相手選択」で通信相手を選択します。
- ⑦待受画面で「戻る」キーを押すことで個別、グループ、全局の順に通信相手を切り替えます。



この手順を繰り返して、ユーザー全員の無線機のIDとグループ番号を登録します。

※設定方法は P.66 にも記載があります。弊社 HP からダウンロードできる無償の編集ソフトウェア (Clone Utility) を使ってユーザーコードや個別通信の ID 設定ができます。別売の PC 接続ケーブル ERW-23 が必要です。



参考

- セットモード「個別設定」の「▼/▲キー動作」で「通信相手選択」を設定すると待受画面で「▼/▲」キーを押して相手局を選択できます。(P.66) チャンネルを固定して使用する場合に便利です。
- 個別通信で呼び出されると、呼び出した人に応答するため一時的に普段と違う呼び出し状態になります。セットモードの「個別呼出切替」「グループ呼出切替」「全局呼出切替」で、通話が終わってから何秒後に通常の状態に戻るかを設定できます。(P.67)



注意

セットモード「表示設定」の「周波数表示」をオンに設定している場合「▼/▲キー動作」で「通信相手選択」を選択しても通信相手の変更ができません。

■個別 ID 表示のとき

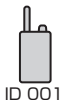
セットモード「個別設定」の「通信相手選択」で
選択した個別 ID の無線機を呼び出せます。

- 最大で 200 の個別 ID が設定できます。
- 同じ個別 ID を複数の人に割り当てすることもできます。
この場合はグループ呼び出しのように
同じ個別 ID の人全員をまとめて呼び出します。



相手局の個別 ID

<例>
ID 番号 004 の人を呼びたいとき



■ グループ表示のとき

セットモード「個別設定」の「通信相手選択」で選択したグループの無線機を呼び出せます。

G01 ~ G10の10組、設定できます。

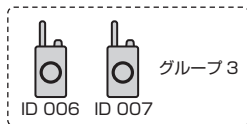
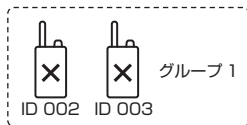


グループ番号

<例>
グループ3番のメンバーを
呼びたいとき



グループ3

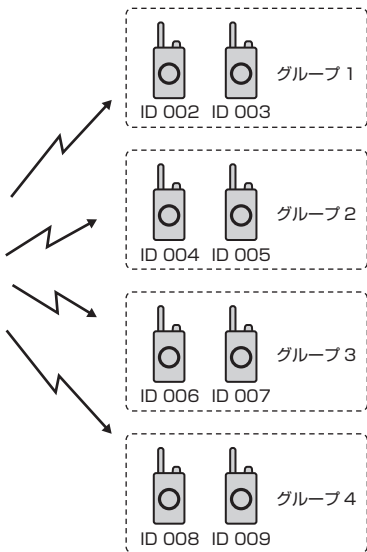


■ 全局表示のとき

全員を呼び出せます。



<例>
全員を呼び出したいとき



6

便利な機能

..... アプリ無線機能

本機と Bluetooth 接続した専用のスマートフォンアプリ (Air-InCom/Air-InCom Lite) でインターネットを介して携帯電話と同じ範囲で通話できます。アプリの使用には別途契約が必要です。販売店または弊社のホームページをご覧ください。アプリ無線に接続する Bluetooth の通信範囲の目安は約 10m です。スマートフォンはその範囲内に置いてください。受信音量を最適に保つためスマートフォンの音量は常にセンター付近に設定してください。

重要 ・ アプリ無線の通話には 0.5 秒程度の遅延があり、電話回線の状態によってはそれ以上の遅延や通話の切断等の障害が発生することがあります。
・ 本機は別売の EMS87B などの Bluetooth ワイヤレスマイクには対応しません。

■スマートフォンとの接続 (ペアリング) 及び専用アプリ (Air-InCom/Air-InCom Lite) との接続 (BLE 接続) について

- 本機の Bluetooth 機能をオンにしてペアリングモードにします。(初めてお使いの時は電源を入れるだけで、1, 2の項目の操作は不要です。)
1. セットモード「各種動作設定」の「Bluetooth」をオンに設定します。
Bluetooth 機能がオンになっていると、待受画面に ✪ が表示されます。
 2. 一度電源をオフして「▲」キーを押しながら電源を入れると、ディスプレイに「ペアリング初期化」と表示されます。そして「機能」キー押しと、ペアリング情報が初期化され、ペアリングモードになります。
 3. スマートフォン側の操作で本機とペアリングさせます。
 4. 本機とスマートフォンが接続できたら本機のインジケーターが青色で遅い点滅に変わります。
 5. 次にチャンネルを「アプリ無線」に合わせるか、PTT キーをアプリ無線の送信ができるようにセットモード「各種動作設定」の「BT 時 PTT 設定」を「アプリ無線」にします。または短縮機能への割り当ても可能です。

6. 専用スマートフォンアプリの種類によっては、本機と BLE (Bluetooth Low Energy) 接続を行う必要があります。
本製品をペアリングモードにした後の BLE 接続方法は専用スマートフォンアプリの取扱説明書をお読みください。

注意 ペアリング機器が見つからない状態が 5 分続いたときは、Bluetooth 機能が自動的にオフとなります。

■ ペアリングモードの入り方

ペアリング情報が入っていない状態で電源を入れると自動的にペアリングモードになります。一度ペアリングした後に再度ペアリングモードに入るには、一度電源をオフにして「▲」キーを押しながら電源を入れます。ディスプレイに「ペアリング初期化」と表示されます。そして「機能」キーを押すと、ペアリング情報が初期化され、「ペアリング中です。」とアナウンスがありますので、スマートフォン側の操作で本機とペアリングさせます。
※ペアリング情報は 1 つしか保持出来ません。上書きすると古いペアリング情報は破棄されます。



参考

ペアリング後の動作について

一度ペアリングしたスマートフォンとは、それ以降毎回ペアリングする必要はありません。

下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。

- 無線機の Bluetooth 機能が「オン」
- 無線機が待ち受け状態
- スマートフォンの Bluetooth がオン

アプリ無線の送信方法については、別途専用スマートフォンアプリ (Air-InCom / Air-InCom Lite) の取扱説明書をお読みください。

■PTT 設定について

アプリ無線で送信するには、後述のアプリ無線専用チャンネルに合わせるか、セットモード「各種動作設定」の「BT 時 PTT 設定」(P.79) を「アプリ無線」にしてください。また、アプリ無線とデジタル簡易無線両方で送信したい場合は「同時送信」を選びます。通信画面で PTT 設定がデジタル簡易無線の時は「D」、アプリ無線の時は「A」、同時送信の時は「B」と表示されます。



「A」または「B」表示の時、アプリ無線の送信が可能となります。

注意 ペアリング機器が見つからない状態が5分続いた時は PTT 設定が「アプリ無線」に設定されていた場合、自動的に「デジタル簡易無線」及び「同時送信」に切り替わります。ただし、アプリ専用チャンネルの場合はチャンネル自体が表示されなくなります。

■アプリ無線専用チャンネル

アプリ無線専用チャンネルは CH82 と CHO1 の間に「アプリ専用」と表示されます。このチャンネルではデジタル簡易無線の送受信はできません。PTT 設定も自動でアプリ送信になります。Bluetooth 機能をオフにしている場合はこのチャンネルを表示しません。



注意 専用スマートフォンアプリ (Air-InCom / Air-InCom Lite) の PTT ホールド機能は OFF にして使用してください。本機が正しく動作しなくなります。なお、PTT ホールド機能を使用してアプリ無線での通話を行う場合は、本機の PTT ホールド機能 (P.70) を使用してください。

■アプリ無線の受信

デジタル簡易無線のチャンネルに設定していても、アプリ無線の受信音声聞く事ができます。デジタル簡易無線とアプリ無線を同時に受信した場合はミックスされた受信音がスピーカーから聞こえます。

■電話がかかってきたとき

本機がスマートフォンに接続されているときに、セットモード「各種動作設定」の「短縮キー機能」、「戻る長押し機能」、「▲▼同時押し機能」のいずれかに「応答キー」を割り当てておくことで電話の応答 / 拒否（Air-InCom Lite の場合は拒否をすることができません）をすることができます。また通話を終える時は「応答キー」を押すと通話を切断することができます。

[Air-InCom 使用時]

専用スマートフォンアプリ（Air-InCom/Air-InCom Lite）のバージョンにより動作が異なる場合がありますので、詳しくは専用スマートフォンアプリの取扱説明書をお読みください。

[Air-InCom Lite 使用時]

iPhone：専用スマートフォンアプリでの通話中に短縮機能の「応答キー」を押すと、電話に応答できます。電話を終了する時も「応答キー」を押すと終了します。

電話応答を終了すると専用スマートフォンアプリの通話を再開します。（送信状態で電話応答した場合は、送信状態から再開します）

Android：専用スマートフォンアプリでの通話中に短縮機能の「応答キー」を押すと、電話に応答できます。この時、専用スマートフォンアプリの通話は終了します。チャンネルが切断状態になります。電話を終了する時も「応答キー」を押すと終了します。専用スマートフォンアプリの通話を再開するには再度、チャンネル接続してから行う必要があります。



参考

- ・スマートフォンの機種によっては本機での電話の応答 / 拒否及び終了ができないことがありますので、その場合はスマートフォン側で操作を行ってください。



注意 Bluetooth の通信は、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化したり、ペアリングが切断されることがあります。

- ・電子レンジなど
- ・無線 LAN
- ・他の Bluetooth 機器

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。

また、Bluetooth 機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

..... 簡易無線、アプリ無線中継機能

デジタル簡易無線で受信した音声信号をアプリ無線に、アプリ無線で受信した音声信号をデジタル簡易無線で自動送信というように、簡易無線とアプリ無線の中継動作を自動で行います。セットモード「各種動作設定」の「BT中継機能」(P.79)で設定ができます。BT中継機能オン時でも普通に送受信動作が可能です。中継器として設置した状態で受信音が気になる場合はボリュームを絞ってお使いください。オンにすると右下に「R」表示が点灯します。



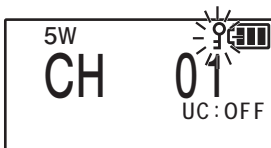
注意

アプリ無線からデジタル簡易無線への中継動作は、Bluetooth接続されたスマートフォンの音声を検出して送信動作を行っております。このため、受信した音声小さすぎると送信されないこともあります。また、下記状態のときに送信されることがありますが、異常ではありません。

- スマートフォンで、アラームなどの専用スマートフォンアプリと関係のない音が鳴ったとき。
- Bluetoothの接続完了及び、切断完了を知らせるガイダンスが鳴ったとき。
- 専用スマートフォンアプリ (Air-InCom / Air-InCom Lite) を使用中に音声とは関係のない着信音、切断音、第三者が参加をしたことを知らせる参加音などが鳴ったとき。

..... キーロック

使用時に誤ってキーが操作されることを防ぐ機能です。セットモード「各種動作設定」の「戻る長押し動作」にキーロックが割り当てられているときに、「戻る」キーを0.5秒以上押し続けるとキーロックが設定され、ディスプレイに「鍵アイコン」が点灯します。キーロック時、「PTT」キー、「短縮」キーの一部、「緊急通報機能」、電源の入/切の操作のみが可能です。キーロックを解除するときはもう一度「戻る」キーを0.5秒以上押し、「鍵アイコン」を消してください。



..... モニター機能





「短縮」キーにモニター機能を設定している場合、「短縮」キーを押している間、設定したユーザーコードに関わらず音声をモニターする機能です。

注意 秘話通信を設定している信号をモニターしても「ギャラギャラ」とノイズのような音が鳴り続け通話内容を聞き取ることはできません。モニター動作中に出るザーという音は時々途切れることがあります。イヤホンやスピーカーの接触不良と誤解することがありますが、異常ではありません。

..... バッテリーレベルアイコン

本機のディスプレイに表示されるバッテリーアイコンは、バッテリーの残量を示します。バッテリーアイコンの中身が空になっているときは、バッテリーパックを交換するか、充電してください。



-  バッテリー残量が十分にあります。
-  バッテリー残量が少し減りました。バッテリー保管に適したレベルです。
-  バッテリー残量が減っています。充電をおすすめします。
-  バッテリー残量が少なくなっています。すぐに充電してください。

..... 秘話通信

秘話コードの一致した無線機間でのみ交信できる機能です。セットモード「通信設定」の「秘話コード」で32,767通りの秘話コードをお使いいただけます。

注意 秘話コードが一致しないときは「ギャラギャラ」とノイズの様な音が鳴り続けます。

[秘話コード]

12345

—機能— || —▼▲—
桁移動 変更

..... 強化秘話通信

セットモード「通信設定」の「秘話タイプ」で設定します。秘話コード設定で秘話通信が設定されている場合に秘話タイプから強化秘話を選択することで秘話通信機能を強化して秘匿性を高める機能です。通常の秘話コード 32,767 通りとは別に 15 通りの秘話タイプを追加することで、491,505 通りの秘話コードとなります。通常の秘話と強化秘話の両方のコードが一致しないと通話できません。



注意 ・標準秘話 32,767 通りは同じ番号に設定すると他社製の無線機とも通話できますが、弊社独自の強化秘話を設定すると他社製とは通話できません。
 ・強化秘話は弊社製の対応する登録局間でのみ通話できます。

..... 呼び出し用チャンネル CH15

CH15 は呼び出し専用と規定され、一切の選択呼出・秘話・メッセージ機能は設定できなくなっています。誰とでも通話できるようになっています。待ち合わせ場所のように使い、相手が見つかったら別の通話 CH に移動してください。誤操作などで突然通話ができなくなったときや他人の助けが必要なときも CH15 で呼ぶことを覚えておくと便利です。

..... プライベートチャンネル機能

よく使う CH 番号を登録して、短縮機能で呼び出せるようにする機能です。設定方法はセットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」、「戻る長押し動作」、「▲▼同時押し動作」のいずれかに「プライベートCH」を設定し、同じセットモードの「プライベートCH設定」にてよく使うチャンネル番号を設定してご利用ください。そして下記操作を行うと設定されたプライベートチャンネルに移行します。



- ・「短縮キー動作」…「短縮」キーを長押しする。
 - ・「戻る長押し動作」…「戻る」キーを長押しする。
 - ・「▲▼同時押し動作」…「▲/▼」キーを同時に押す。
- (このときディスプレイにアイコン が点灯します) もう一度「短縮」キーを長押しすると元のチャンネルに戻ります。

..... スキャン機能

自動的にチャンネルを切り替えて通話の行われているチャンネルを探すことをスキャンと呼びます。セットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」、「戻る長押し動作」、「▲▼同時押し動作」のいずれかにスキャンを設定し、下記操作を行うとスキャンを開始することができます。



- ・「短縮キー動作」…「短縮」キーを長押しする。
- ・「戻る長押し動作」…「戻る」キーを長押しする。
- ・「▲▼同時押し動作」…「▲/▼」キーを同時に押す。

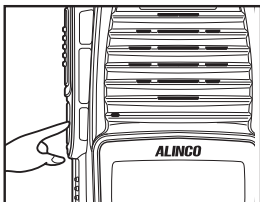
信号を受信するとスキャンは自動的に止まり、同じセットモードの「スキャンタイプ」で設定した条件で再開します。

スキャン方向は「▼/▲」キーで変更できます。スキャン中は画面右下に「スキャン」と表示されます。

同じセットモードの「スキャンCH設定」でチャンネルごとにスキャンまたはスキップの設定ができます。

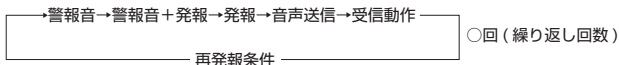
..... 緊急通報機能

緊急事態が発生したことを、キーを押すだけで発報する機能です。送信側はセットモード「各種動作設定」の「短縮キー動作」で緊急を設定します。通報を受信させたい個体は拡張セットモード「緊急動作設定」の「受信の許可禁止」で許可を選択します。「短縮」キーを約3秒押しと送信側、受信側ともアラーム音となり、個別通信時は送信側のIDが表示されます。自分はまだ一度「短縮」キーを約3秒、相手は「PTT」キーを押すことでアラームが止まり表示が通常待受画面に戻ります。



緊急動作

緊急通報機能のカスタマイズをすることができます。通常の緊急動作は自身の警報音と通信相手へ発報の30秒の動作ですが、拡張セットモード「緊急動作設定」でより細かな設定が可能です。下記のサイクルで動作をします。



- 警報音のみ …自身で警報音を鳴らす
 - 警報音+発報 …自身と通信相手の警報を鳴らす
 - 発報のみ …自身は鳴らせずに通信相手のみ警報を鳴らす
 - 音声送信 …周囲の音声を送信する
 - 受信動作 …相手からの音声を受信する
 - 繰り返し回数 …指定した動作を繰り返す回数
 - 再発報条件 …再発報するときの条件
- 動作させたい項目以外はオフにしておきます。

..... ショックセンサー機能

本体が傾きまたは衝撃を検知した際に前ページで設定した緊急警報（動作）を行います。拡張セットモード「ショックセンサー機能」の「動作モード」よりオフ、転倒検出モード、振動検出モードから選択します。振動検出モードではその画面で「短縮」キーを押すと 10 秒後に動作開始します。動作モードを設定した状態の無線機に対して、遠隔操作で動作開始させることもできます。

転倒検出モード：

本機に傾きを検出された場合に緊急動作をします。
セットモード「ショックセンサー機能」の「検出方向」にてどの方向への傾き、同じセットモードの「傾斜判定角度」にてどの程度の傾きで動作させるかの設定ができます。

有効にした軸に一定の加速度 (G) を感じるとセンサーが反応します。
無線機を立てて使う場合は「前後+左右」が適しています。上下方向には常に重力加速度が掛かることになるので、上下の軸を有効にすると、反応し続けることになるためです。
無線機を寝かせて使う場合は「上下+左右」が適しています。

振動検出モード：

本機に衝撃を検出された場合に緊急動作をします。
同じセットモードの「衝撃判定強度」にてどの程度の衝撃で動作させるかの設定ができます。

注意 ・これらのセンサー機能の精度は保証していません。個体による感度のばらつきもございます。あくまで目安としてお使いください。
・実用される前に十分実験して、誤報など無いようにお使いの用途に最適であることを確認してください。



仲間から見えない場所で一人で危険作業をするような場合に設定すると、転倒して動けなくなったり、高所からの落下など大きな衝撃を受けたりしたことを自動で発報できます。

通話録音機能

拡張セットモード「録音機能」を P.68 にしたがって「録音動作設定」と「録音停止時間」を設定します。

「録音動作設定」で設定した送信または受信したときに録音が始まります。送信または受信が停止して「録音停止時間」で設定した時間が経過すると録音が停止されます。

同じセットモードの「録音データ一覧」で「▼/▲」キーで再生したい録音データを選び「機能」キーを押すことで再生することができます。(P.68)

31 件分の受信音声や送信音声を録音できます。録音可能時間は保存件数に関係なく約 35 分が上限です。

録音件数や録音時間を超えた場合、古い録音から自動的に消去されます。

録音音声を再生しているときに通話を受信した場合は、再生を停止して受信音声を出力します。

ユーザーコードの不一致や個別通信の相手ではない場合は信号を受信していても再生を継続します。

再生中に送信した場合は再生を停止します。

[録音データ一覧]			
着	UC	01:35	▲
不	個123	00:16	
発*	全局	02:10	▼
↓	↓	↓	↓
呼出形態	未再生表示	通信形態	録音時間

呼出形態

録音された通信が呼び出されたのか、または呼び出したのかを表します。状態は漢字 1 文字で以下のように表示されます。

- 着…受信のみ
- 不…受信のみ（個別通信で個別番号を指定して呼ばれたとき）
- 発…送信のみ
- 呼…送信をして応答があった場合
- 応…受信をして応答した場合

未再生表示

まだ再生していない録音には* マークが表示されます。

通信形態

録音された通信がどのような通信だったかを表します。

- UC ……ユーザーコード通信時に表示されます。
- 全局 ……個別通信設定時に全局指定の呼出しを受信するか、全局指定で送信した場合に表示されます。
- グ-〇〇 ……個別通信設定時にグループ番号〇〇で呼出しを受信するか、グループ番号〇〇で送信した場合に表示されます。
- 個〇〇〇 ……個別通信設定時に個別番号〇〇〇から個別番号を指定して呼ばれるか、個別番号〇〇〇を指定して呼んだ場合に表示されます。

録音時間

録音時間が分：秒で表示されます（無通信時の無音時間は含まれません）

短縮機能

短縮機能は「セットモード」の「短縮キー動作」、「戻る長押動作」、「▲▼同時押動作」に割り当てることができ、割り当てたキーを押したときの動作を選択できます。キーにより割当てできる項目が異なります。P.80の項目をご覧ください。

[短縮キー動作]	
サブPTT	
-▼▲-	-戻る-
変更	完了

- ・「短縮キー動作」(P.80)・・・「短縮」キーを押す
- ・「戻る長押動作」(P.80)・・・「戻る」キーを長押しする
- ・「▲▼同時押動作」(P.80)

*マークの機能はキーロック中も動作します。

- モニター* ……モニター機能(P.41)の動作をします。
- サブPTT* ……現在の出力設定とは別に、同じセットモードの「サブPTT出力」で設定した出力で送信します。
- 直通個別PTT* ……素早く連絡を取りたい相手に送信できます。通信相手はセットモード「個別通信」の「直通相手選択」で設定します。
- スキャン ……スキャン設定されているCHをスキャンします。
- 送信出力切替 ……押す毎に送信出力を切り替えることができます。
- 緊急* ……3秒押し続けると緊急通報機能が動作します。
- プライベートCH ……プライベートCH(P.42)に切り替えます。
- 固定音量切替 ……音量を一時的に固定化します。固定化させる音量はセットモードの「固定音量レベル」で設定した値です。
- 最終録音再生 ……最後に録音されたデータを再生します。

便利な機能

BT 時 PTT 設定 *…アプリ無線に接続時、PTT キーを押すと簡易無線送信かアプリ無線送信、またはその両方で送信を選択できます。

アプリ無線 PTT*…アプリ無線に接続時、PTT キーを押すとアプリ無線のみ送信する機能。

秘話コード切替 …待受画面で秘話コードの有効 / 無効を切り替えることができます。

応答キー * …スマートフォンに着信があった場合は応答でき、通話中なら終話する機能。

注意

デュアルオペレーションモードのときはサブ CH 送信動作となります。

子機間通話禁止機能

親機と子機間のみ通信可能にし、子機同士の通信はできません。

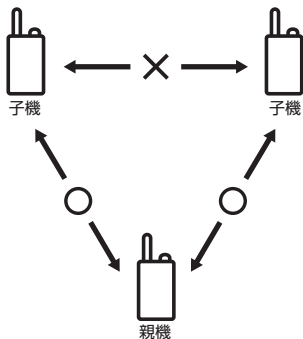
(子機設定のときはディスプレイに「子機アイコン」が点灯します)

子機同士を通話できなくさせることで、管理者(親機)が子機を指揮しやすくする通話方法です。子機同士が話した間違っただ情報が拡散するのを防ぐ等のメリットがあります。

セットモード「通信設定」の「親機子機切替」で設定します。

「親機子機切替」は拡張セットモードの項目です。(P.64)

親機は複数設定でき、親同士は通信可能です。



この機能を使わないときは全ての無線機を親機に設定してください。

参考

初期設定は親機です。

..... 受信音質調整機能

受信音声の音質を調節できます。
聞き取りやすいと感じるように設定してください。

セットモード「受信設定」の「低音域抑制」、「高音域抑制」それぞれで抑制レベルを設定できます。



..... 受信低下通知機能

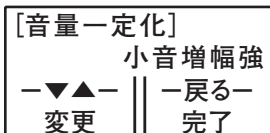
受信信号が弱くなったらピープ音で知らせます。通話できなくなる可能性を事前に知らせてくれる機能です。

セットモード「通知/警告設定」の「受信低下通知」で設定します。



..... 受信音量一定化機能

送り手により異なる声の大きさを一定化してからスピーカやイヤホンに出力することで、音声聞き取りやすくします。セットモード「受信設定」の「音量一定化」で設定します。



大音抑制



小音増幅弱



小音増幅強



参考

・小音増幅時には、自動的に大音抑制機能も動作します。

..... ノイズキャンセル機能 ,.....

音声以外のノイズを除去して音声の明瞭度を上げる機能です。

イベント会場や工場内、機械室内など騒音の大きい環境で効果があります。

セットモード「送信設定」の「ノイズキャンセル機能」で設定します。

[ノイズキャンセル機能]

効果○

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了



- ノイズキャンセル機能は、本体正面の音声マイクで受けた音声と本体下部のノイズマイクで受けたノイズと比較して、ノイズ成分を打ち消すような音声波形を当ててノイズを取り除く処理です。ノイズ抑制機能とは別の機能です。

注意

- 本体下部のノイズマイクを塞がないよう注意してください。
- 最適な効果が得られるのは口とマイクの距離が5cm程度離れている状態です。
- 突発的な物音などはノイズキャンセルできません。
- 騒音が少ない場所では、送信音声小さくなったり、歪んだりすることがあります。その場合はノイズキャンセル機能をオフにすることをおすすめします。
- 効果大に設定しても効果が感じられない場合があります。

..... ノイズ抑制機能

受信音に含まれるノイズ成分を抑えて音声を際立たせる機能です。
 セットモード「送信設定」の「ノイズ抑制機能」で設定します。
 「ノイズ抑制機能」は拡張セットモードの項目です。

[ノイズ抑制機能]	
-▼▲-	オン
変更	
	-戻る-
	完了



参考

- この機能は、マイクに入った音声をデジタル処理してノイズ成分を抑えるもので、ノイズキャンセル機能とは異なります。



注意

- ノイズの種類によっては効果が弱く感じられることがあります。
- 雑音を抑えるまで時間がかかることがあります。
- 周辺音もモニターしたいときは、本機能はオフにしてください。オンにすると周辺音は補正されます。

VOX 動作

「PTT」キーを押して送信する代わりに、「本機に入ってきた声」に反応して自動的に送信する機能です。話しかければ自動的に送信し、話し終えれば自動的に受信状態になります。

[VOX動作設定]
通常VOX動作
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

セットモード「送信設定」の「VOX動作設定」、「VOX動作レベル」で、VOXの動作条件と動作音量を設定することができます。

「VOX動作設定」及び「VOX動作レベル」は拡張セットモードの項目です。

VOX動作設定

- 通常 VOX 動作 …送受信共に、自動で切り替わります。
- 送信開始時 PTT キー …「PTT」キーで送信、話し終わると自動で受信になります。頭切れと、咳払い等での誤送信を防ぎます。
- 送信終了時 PTT キー …自動で送信して、「PTT」キーで受信になります。息継ぎなどで通話が途切れたり、任意のタイミングで送信を終わりたいときに便利です。



- 通話中「PTT」キーを押し続けるのがわずらわしい時は VOX の代わりにセットモード「送信設定」の「PTT ホールド」を設定すると、話始めと終わりに「PTT」キーを押すだけで通話できるようになります。

・・・ デュアルオペレーションモード ・・・

メイン/サブの2つのチャンネルを交互に受信し、そのどちらとも通信することができるモードです。

拡張セットモードの「デュアルオペレーション」の「動作設定」をオンにして、同じセットモードの「メインCH設定」、「サブCH設定」を設定します。

(P.84)

待受画面のCH01で「▼」キーを押すとデュアルオペレーションモードとなり受信を開始します。

受信終了後に動作再開する時間を同じセットモードの「再開時間設定」で設定することができます。

メインCHとサブCHの切り替え時間は同じセットモードの「CH切替間隔」で設定することができます。

[動作設定]

オン
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

送信

メインCHで送信する場合は「PTT」キーを、サブCHで送信する場合は、「短縮」キーを押します。

送受信が終了した後、再開時間の経過で交互待ち受けを再開します。

[メインCH設定]

CH01
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

受信

メイン側を受信すると「メイン側入感あり」と表示され、「ピッ」音が鳴ります。また、サブ側を受信すると「サブ側入感あり」と表示され、「ピピッ」音が鳴ります。

[サブCH設定]

CH02
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了



参考

- ・ オプションのスピーカーマイク等で送信する場合は、外部「PTT」キーの一度押しでメイン側を、二度押しでサブ側を送信できます。
- ・ セットモードの「短縮キー動作」は一時的に無効になります。
- ・ 本機能の動作中はバッテリーセーブ機能は動作しません。

..... ショートメッセージ機能

通信相手にショートメッセージを送信できる機能です。

この機能を使用するには、受け側が拡張セットモード「ショートメッセージ機能」の「受信の許可禁止」を許可に設定している必要があります。

メッセージを送信するには拡張セットモード「ショートメッセージ機能」の「メッセージ送信」よりあらかじめ用意された4種類の文章の中から「機能」キーで選択し、もう一度「機能」キーを押すと「送信中」と表示されます。

送信が完了すると「送信完了」と表示されます。受信時は待受画面にアイコンが表示されます。

同じセットモードの「受信時自動表示」をオンにすると受信したメッセージを自動で表示します。「戻る」キーを押すと待受画面に戻れます。

受信メッセージ一覧では今までの通信記録が確認できます。保存件数は4件までです。

通信相手…個別通信時に送信相手の個別IDを表示します。

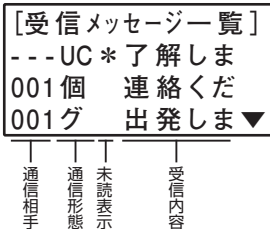
通信形態…呼び出された通信がどのような通信だったかを表示します。

UC → ユーザーコード通信時

個 → 個別通信の個別呼出時

グ → 個別通信のグループ呼出時

全 → 個別通信の全局呼出時



弊社 HP で無償配布する編集ソフトを使えば全角半角混在で32文字までのメッセージを4つ、任意に作って本機に登録することができます。オリジナルは以下の4つです。

- 了解しました
- 連絡ください
- 出発します
- 到着しました

..... エアクローンモード

未設定の DJ-DPS72W(クローン機) を、設定が済んだ DJ-DPS72W(マスター機) から無線で任意の台数を一度にクローンできます。クローン機はどんな設定になっていても、全てマスター機の設定に書き換えられます。チャンネルを合わせるなど、事前の用意はありません。

- ①マスター機にする1台に、必要な設定を行います。
- ②マスター機も子機も全て、「機能」 「▼」 「戻る」の3つのキーを同時に押したまま電源を入れ、機種名表示の後に指を離して、「【エアクローン】短縮長押しで送信 [CH**]」を表示させます。
- ③「▼/▲」キーを使って親機、子機とも同じ空きチャンネルの番号に合わせます。
子機側は何もしません。マスター機の「短縮」キー（PTTの下の子機側）を2秒間程長押しすると送信が始まり、マスター機は「データ送信中」、子機は「データ受信」と、進行状態が表示されます。
- ④クローンが成功するとマスター機は「データ送信完了」、子機は「データ受信完了」を表示してピーブ音を2回鳴らします。子機の電源を入れなおして設定が正しくクローンされているか確かめます。作業が終わったら電源を切ります。

[エアクローン]
短縮長押しで送信
[CH**]

- 注意** ・エアクローンにかかる時間は45秒～50秒ほどです。事前にバッテリーパックを充電しておいてください。
- ・初期値ではエアクローンモードになるとCH82を自動的に選択します。エラーになるときはCH82に強い電波が出ている可能性があります。この時はエアクローンモードで「▼/▲」キーを押し、全ての無線機のチャンネルを手動で変えてください。CH26～CH30とCH71～CH82が総務省の推奨するデータ通信用チャンネルです。
 - ・マスター機の送信中に再度「短縮」キーを長押しすると、クローンを中止できます。
 - ・クローンが中断されたり失敗したりした子機は「データ受信失敗」と表示されます。改めてマスター機の「短縮」キーを長押しして送信すると、最初からクローンを再開します。「短縮」キーを押すタイミングによっては子機が反応しなかったり、ピーブ音が鳴ったりすることがありますが異常ではありません。少し間をおいてリトライしてください。

- 注意**
- ・ 失敗した状態で子機の電源を切り、再度電源を入れると「受信失敗したからもう一回最初から送り直してください」と表示されます。マスター機の「短縮」キーを長押しすると最初からクローンを再開します。
 - ・ エラー状態の子機でも、電源を切って「短縮」と「戻る」キーを同時に押しながら電源を入れて「機能」キーを押すリセットをすれば初期状態で起動します。クローンエラーが無線機の故障の原因になることはありません。
 - ・ Bluetooth 機能のオンオフ設定はエアクローンされますが、ペアリング情報は設定されません。スマートフォン側の操作で本機とペアリングしてください。



- ・ クローン機にアンテナを接続すると混信を受けて、エラーになる可能性が高くなります。同じ机の上に並べてその前から送信する程度の距離であれば、クローン側はアンテナを外していてもエアクローンできます。

..... ACSH(アクシュ) モード.....

既に使用している無線機のチャンネルとユーザーコードを探知して、本機に同じものを自動設定する機能です。キー操作での設定を省略できます。

■ ACSH(Auto Connect Shake Hands) モードについて

- 設定元の無線機はデジタル簡易無線登録局 3R/3T の AMBE コーデック機で、下記の状態、条件でなければメーカーや機種を問いません。
- 本機を ACSH モードにして、自動設定が完了するまで最長で 60 秒程度かかります。バッテリーパックを充電してから操作してください。
- ACSH モードは 3 分経つと誤設定を防ぐため自動的に電源が切れます。多数の無線機を ACSH する時は複数回に分けるか、誰かに手伝ってもらおうなどしてください。
- ACSH モードでの自動設定は、外来電波による誤判定を防ぐため近距離で行ってください。自動設定中は電源を切らないでください。机の上に並べてそのすぐ前から送信する程度の距離であれば、外来電波を受信しないように受信側のアンテナを外してください。
- ACSH モードで自動設定すると、誤操作を防ぐためキーロックします。設定変更などのキー操作をするときは、「戻る」キーを長押ししてキーロックを解除してください。
- リセットすると ACSH モードで自動設定した内容は消去され、初期化します。

■ ACSH ができないもの

- 秘話設定(送信側):
秘話通信の性質に配慮して、秘話が掛かった電波は自動設定しないようにしています。
- CH15(送信側):
呼び出しチャンネルです。他のチャンネルを選んでください。
- 上空用 3S/3U のチャンネル:
本機の上空用 CH 受信設定をしていても ACSH できません。
- 個別呼び出しモード:
設定元の無線機が個別呼び出しモードになっていると ACSH できません。
- アプリ専用チャンネル:
アプリ無線専用チャンネルです。ACSH できません。

■ ACSH モードの操作

※電源を入れたとき、電池残量表示の左に鍵のアイコンが表示されていたら「戻る」キーをアイコンが消えるまで押してください。

本書 P.22 の「■本体」のイラストで、各部の名称を覚えておいてください。

電池残量を確認した、設定元になる無線機を 1 台用意します。

- ① [PTT] キーの下にある「短縮」キーを押したままで電源 / 音量つまみを時計方向に回して電源を入れます。画面に「ACSH モード」と表示されたら「短縮」キーを離します。
- ② 「アクシュモードです、設定元のトランシーバーを送信してください」と音声でお知らせして、電波を探し始めます。ACSH したい本機全てに同じ操作をします。
- ③ 準備ができたら設定元となるトランシーバーで送信します。話す必要はありません。全ての子機の ACSH が終わるまで送信しておいてください。正常に終了すると「自動設定が完了しました。」とお知らせした後、キーロック状態になります。

書き込みエラーが起きると「ACSH の設定ができませんでした」とお知らせした後に電源が切れます。ACSH できなかったときは親・子いずれも電源を入れなおして、再度①から操作してください。リセットしておく必要はありません。

..... ビジーアラーム

ユーザーコードや通信モードが一致せず受信音声は出ていなくても、そのチャンネルで強い電波（キャリアセンスがかかる強さ）を受信している時に、ビープ音でお知らせする機能です。別のユーザーグループが同じチャンネルで通話していることが分かりやすくなります。ビープが鳴っているときはキャリアセンスが働いている可能性が高く、PTT を押しても送信できないことがあります。スピーカーから音が出る信号を受信しているときは、ビジーアラームは鳴りません。セットモード「通知/警告設定」の「ビジーアラーム」で動作条件を選択します。音量はセットモード「操作音設定」の「ビープ音量」で、他のビープ音と同じレベルに設定できます。ビープ音量が「オフ」設定の時はビジーアラームも鳴りません。

- ・ 秒数設定：その間隔ごとに受信信号の有無を確認し、強い電波があればビープ音が鳴ります。
- ・ 入感時と消感時：強い電波の入感時にピポ、消感時や弱まった時にポピとそれぞれ一度だけ鳴ります。入感時間の長短にかかわらず、秒数設定の様に複数回鳴ることはありません。

..... エンドピピ

通話終わりを知らせる「エンドピー機能」の進化形です。相手が送信を終わった時に、最後に受信した信号の強度に応じて、強い時は「ピッ」、通話ができるレベルなら「ピピッ」、通話が不安定になりそうなときは「ピピピッ」、信号が途中で切れたか、弱くて通話が困難なレベルなら「ピー」と鳴ってお知らせします。いわば「耳で聞くアンテナマーク」です。セットモード「操作音設定」の「エンドピー」で「エンドピピ」を選択すると動作します。音量はセットモード「操作音設定」の「ビープ音量」で、他のビープ音と同じレベルに設定できます。ビープ音量が「オフ」設定の時はエンドピピも鳴りません。

接客モード

イヤホンマイクを装着時に、簡単な動作で受信音量を小さくする機能です。あらかじめセットした時間が経過すると元の音量に戻ります。接客モードの動作はセットモード「各種動作設定」の「接客モード」で設定します。キー操作で受信音量を小さくするよりも素早く小さくでき、自動で復帰するのが特徴です。接客モード動作中は本機のインジケーターが水色に点灯します。

注意 別売のマイクアクセサリでも、以下のように対応しないものやご使用が制限されるものがあります。また VOX、PTT ホールド、デュアルオペレーションを使用中は接客モードが作動しません。

— 対応しないもの / 動作保証しないもの

- 弊社製咽喉マイク
- 他社製マイクアクセサリ全て
- 本機内蔵のマイク

— 弊社製でも制限のあるもの

- スピーカーマイク全て：「タッチ」「ボイス」が作動しません。

- ハンド：イヤホンマイクの PTT キーを短く押すと受信音量が小さくなります。設定時間を超えるか、もう一度 PTT キーを短く押すと解除されます。
- タッチ：イヤホンマイクを軽くたたくと受信音量が小さくなります。設定時間を超えるか、もう一度マイクをたたくと解除されます。
- ボイス：送信していないとき、イヤホンマイクに自分の声が入っている間は受信音量が小さくなり、声がなくなると元の音量に戻ります。

いずれのモードも送信するときは PTT キーを操作します。

リセット

電源を切り、「短縮」キーと「戻る」キーを押したまま電源を入れます。「RESET」が表示されたら「機能」キーを押すと全て初期化されます。拡張セットモード、録音データ、ショートメッセージ、Bluetooth ペアリング情報も消去され、復元できなくなります。

RESET
実行 → 機能キー
中止 → その他のキー



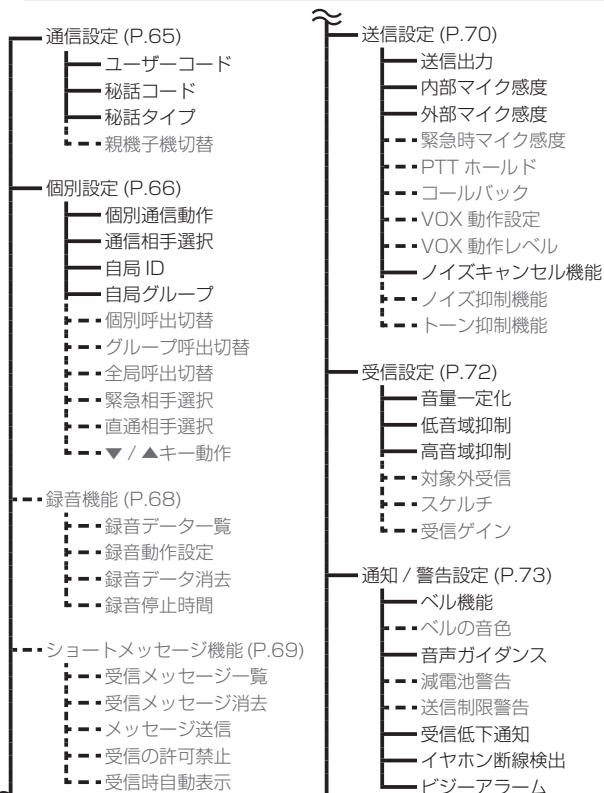
参考

- 販売店が納入前に各設定をプログラミングされ、リセットできないことがあります。(編集ソフトでリセット禁止が設定できます。)
- 誤操作で通話できなくなったときは、リセットしてから正常に動作する無線機をマスター機にしてエアクローンするのが一番確実な復旧方法です。(P.55) 販売店がプログラムして納入されたものはエアクローンせずに販売店にご相談ください。

7

セットモード

..... セットモード一覧



<ul style="list-style-type: none"> 表示設定 (P.75) <ul style="list-style-type: none"> — バックライトタイマー - - コントラスト — CH 非表示 - - 周波数表示 - - S メーター表示 - - 受信レベル表示 操作音設定 (P.77) <ul style="list-style-type: none"> — ビープ音量 — PTT ビープ — エンドピー 電源設定 (P.78) <ul style="list-style-type: none"> — バッテリーセーブ — オートパワーオフ 各種動作設定 (P.78) <ul style="list-style-type: none"> - - 上空用 CH 受信 - - CH 通信設定 — BT 時 PTT 設定 — BT 中継機能 — BT 音声検出値 — プライベート CH 設定 — 短縮キー動作 — 戻る長押動作 — ▲▼同時押動作 — サブ PTT 出力 - - スキャンタイプ - - スキャン CH 設定 - - スキャン速度 — 外部音量設定 — 音量の調整方法 — 固定音量レベル - - 最大音量レベル - - 最小音量レベル — 接客モード — 接客ボイス感度 — 接客タッチ感度 — 接客復帰時間 — 接客ボイス保持 — Bluetooth 	<ul style="list-style-type: none"> デュアルオペレーション (P.84) <ul style="list-style-type: none"> - - 動作設定 - - メイン CH 設定 - - サブ CH 設定 - - 再開時間設定 - - CH 切替間隔 緊急動作設定 (P.85) <ul style="list-style-type: none"> - - 受信の許可禁止 - - 警報音のみ - - 警報音 + 発報 - - 発報のみ - - 音声送信 - - 受信動作 - - 繰り返し回数 - - 再発報条件 - - 警報音量 (内部) - - 警報音量 (外部) ショックセンサー機能 (P.87) <ul style="list-style-type: none"> - - 動作モード - - 検出方向 - - 傾斜判定角度 - - 傾斜判定時間 - - 衝撃判定強度 - - 遠隔操作 温度センサー機能 (P.88) <ul style="list-style-type: none"> - - 温度表示 - - 高温警報 - - 低温警報 機器情報 (P.89)
--	--



参考

- グレー表示の部分は次のページの拡張セットモードにて設定操作をすると表示され、使えるようになります。
- 反転文字は Bluetooth がオンの時のみ表示され、アプリ無線と接続した時に使えるようになります。

..... セットモード基本操作

本機をもっと使いやすくするために、各種機能の動作をカスタマイズできます。

■ セットモードの設定方法

- ①待受画面で「機能」キーを押してセットモードに入ります。
- ②「▼／▲」キーを押して設定したい項目に合わせ、もう一度「機能」キーを押します。
- ③「▼／▲」キーで設定したい項目を選んで「機能」キーを押します。表示に従いキー操作すると、確定します。
- ④「戻る」キーを押して編集を続けるか、「PTT」キーで待ち受け画面に戻ります。

■ 拡張セットモードの設定方法

- ①一度電源をオフにして、「機能」キーを押しながら電源をオンにします。
- ②「拡張設定有効？」と表示されます。「機能」キーを押すと拡張セットモードが有効になります。
- ③セットモードに入ると設定項目が増えた拡張セットモードになっています。
- ④拡張セットモードを通常のセットモードに戻すときも同様の操作で、「拡張設定無効？」と表示されます。「機能」キーを押すと通常のセットモードになります。

拡張セットモードの設定項目を変更した場合、変更は適応されたまま通常セットモードに戻ります。拡張セットモードだけの設定項目をまとめてリセットしたり保存したりすることはできません。



参考

拡張セットモード時は [セットモード+] と表示されます。

..... セットモード

セットモードの設定内容です。

* マークが付いている項目は拡張セットモードの設定項目です。

** マークがついている項目は「Bluetooth」がオンの時のみ表示され設定できる項目です。

注意 本機の通信・通話設定のほとんどはデジタル簡易無線用の設定です。アプリ無線で有効になる通信・通話用の設定は項目名の前のマークが○の項目です。

■ 通信設定

● ユーザーコード

ユーザーコードを設定します。
「機能」キーを押すと桁移動をします。初期値はオフです。
「戻る」キー長押しで設定したコードとオフを切り替えます。

[ユーザーコード]

オフ

—機能— || —▼▲—
桁移動 || 変更

オフ / 001 ~ 511

● 秘話コード

秘話通信で使用する秘話キーを設定します。
「機能」キーを押すと桁移動をします。初期値はオフです。
「戻る」キー長押しで設定したコードとオフを切り替えます。

[秘話コード]

オフ

—機能— || —▼▲—
桁移動 || 変更

オフ / 00001 ~ 32767

● 秘話タイプ

強化秘話通信を使用するときを選択します。
初期値は標準秘話です。

[秘話タイプ]

標準秘話

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

標準秘話 / 強化秘話 01 ~ 15

※ 秘話タイプを使うときは秘話コードも同じものを通話グループ全員に設定してください。

● 親機子機切替*

子機間通話禁止機能を選択します。
初期値は親機です。

親機 / 子機



■ 個別設定

● 個別通信動作

個別通信機能を使うときはオンに
します。初期値はオフです。

オフ / オン



● 通信相手選択

個別通信の相手を選びます。
「機能」キーを押すと桁移動がで
きます。初期値は全局です。

個別 001 ~ 200 / グループ 01
~ 10 / 全局



● 自局 ID

個別通信で使用する自分用の ID を
設定します。初期値は 001 です。

001 ~ 200



● 自局グループ

個別通信で使用する自分用のグ
ループを設定します。
初期値は 01 です。

01 ~ 10



※ 個別通信の ID やグループ番号の設定は「個別通信」P.31 ~ のイ
ラストが参考になります。

- 個別呼出切替*
- グループ呼出切替*
- 全局呼出切替*

初期設定の「オフ」では個別、グループ、全局で選択呼び出しされたとき、呼び出した人と自分の通話相手設定が異なっていると応答できません。

自動で通話相手を切り替えて応答した後、その状態を一定時間保持してから元の通話設定に戻す、または通話相手を呼び出した人に切り替えてしまうことができます。それぞれ、以下の設定が選べます。

オフ / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 60 秒 / 完全切替

[個別呼出切替]

オフ

-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

[グループ呼出切替]

オフ

-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

[全局呼出切替]

オフ

-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

- 緊急相手選択*

個別通信で緊急通報するときの相手やグループを指定できます。初期値は全局です。

無し / 個別 001 ~ 200 / グループ 01 ~ 10 / 全局

[緊急相手選択]

全局

-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

- 直通相手選択*

個別通信で「短縮」キーに直通個別 PTT を割り当てた場合の相手を指定できます。初期値は全局です。

個別 001 ~ 200 / グループ 01 ~ 10 / 全局

[直通相手選択]

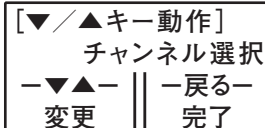
全局

-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

●▼／▲キー動作*

個別通信時の「▼／▲」キーの動作を選択します。
初期値はチャンネル選択です。

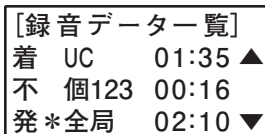
チャンネル選択 / 通信相手選択



■録音機能*

●録音データ一覧*

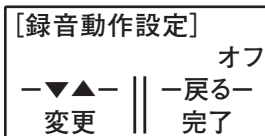
録音したデータを再生できます。
「▼／▲」キーでデータを選び「機能」キーで再生します。



●録音動作設定*

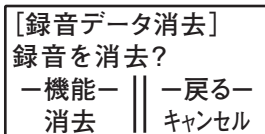
録音するときの動作条件を選択します。初期値はオフです。

オフ / 全て録音 / 全局通話のみ録音 / 全局+グループ録音 / 全局+個別録音 / 個別通話のみ録音 / 個別+グループ録音 / グループのみ録音



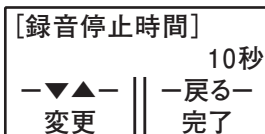
●録音データ消去*

「機能」キーを押すと録音したデータを消去できます。
すべての録音データが消去されます。部分的な消去はできません。



●録音停止時間*

待ち受け状態になってから何秒後に録音を停止するかの設定です。
待ち受け中の無音状態は録音されません。



1秒 / 5秒 / 10秒 / 20秒 / 30秒

■ ショートメッセージ機能*

● 受信メッセージ一覧*

受信したショートメッセージを確認できます。

「▼/▲」キーでデータを選び「機能」キーで確認します。

[受信メッセージ一覧]
 ---UC* 了解しま
 001個 連絡くだ
 001グ 出発しま▼

● 受信メッセージ消去*

「機能」キーを押すと受信したショートメッセージを消去できます。

すべての受信メッセージが消去されます。

[受信メッセージ消去]
 メッセージを消去?
 -機能- || -戻る-
 消去 || キャンセル

● メッセージの送信*

ショートメッセージを送信します。「▼/▲」キーでメッセージを選び「機能」キーで選択、もう一度「機能」キーを押すとメッセージを送信します。

[メッセージ送信]
 1: 了解しました
 2: 連絡ください
 3: 出発します ▼

● 受信の許可禁止*

ショートメッセージを受信させるかどうか選択します。初期値は禁止です。

禁止 / 許可

[受信の許可禁止]
 禁止
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

● 受信時自動表示*

ショートメッセージ受信時に自動で表示させるかどうか選択します。初期値はオンです。

オフ / オン

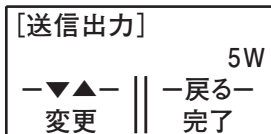
[受信時自動表示]
 オン
 -▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

■送信設定

●送信出力

送信出力を選択します。
初期値は 5W です。

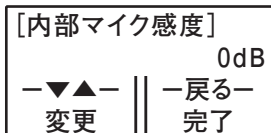
受信のみ / 1W/2W/5W



●内部マイク感度

本体内部マイクの感度を変更できません。初期値は 0dB です。

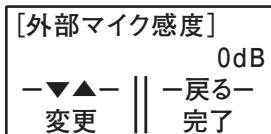
-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)



●外部マイク感度

外部マイクの感度を変更できます。
初期値は 0dB です。

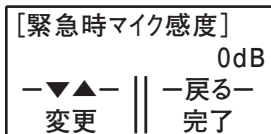
-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)



●緊急時マイク感度*

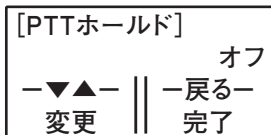
緊急動作時のマイクの感度を変更
できます。緊急動作設定 (P.85)
の音の音声通話時のマイク感度の
設定です。初期値は 0dB です。

-15dB(最小)/-12dB/-9dB/
-6dB/-3dB/0dB/+3dB/+6dB/
+9dB/+12dB(最大)



◎PTT ホールド*

「PTT」キーを一度押すと送信を
保持、もう一度押すと待ち受けに
戻ります。送信中はハンズフリー
になります。初期値はオフです。



● **コールバック***

送信中自分が話している声をイヤホンで聞くことができる機能です。ボリュームとは連動しません。初期値はオフです。

オフ / オン



◎ **VOX 動作設定***

VOX の開始終了条件を選択します。初期値はオフです。

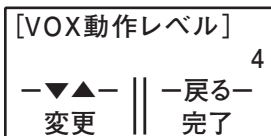
オフ / 通常 VOX 動作 / 送信開始時 PTT キー / 送信終了時 PTT キー



◎ **VOX 動作レベル***

VOX の動作音量を選択します。初期値は 4 です。数字が大きいかほど小さな声でも反応します。

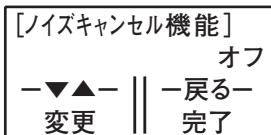
1: 大声で動作 / 2/3/4/5/6/7: 小声で動作



● **ノイズキャンセル機能**

ノイズキャンセルの強さを選択します。初期値はオフです。

オフ / 効果小 / 効果中 / 効果大



● **ノイズ抑制機能***

ノイズ抑制機能を動作させるかどうか選択します。初期値はオンです。

オフ / オン



● トーン抑制機能*

サイレンのような一定周期で鳴る騒音を軽減します。騒音の種類によって効果は変わります。初期値はオフです。

オフ / オン



■ 受信設定

● 音量一定化

受信した音の大きさを均一化させる機能です。初期値はオフです。

オフ / 大音抑制 / 小音増幅弱 / 小音増幅強



● 低音域抑制

受信した音声の低音域を抑制する機能です。初期値はオフです。

オフ / 抑制レベル弱 / 抑制レベル強



● 高音域抑制

受信した音声の高音域を抑制する機能です。初期値はオフです。

オフ / 抑制レベル弱 / 抑制レベル強



●対象外受信*

ユーザーコード通信や秘話通信設定中は他の信号が聞こえません。オンにすると設定した通信のまま設定以外の受信も可能となります。動作保証はできません。受信できない信号もあります。初期値はオフです。

オフ / オン



●スケルチ*

値を大きくするとアンテナマークの誤表示やスキャン時の速度低下が改善されますが、弱い信号は受信しにくくなります。0にするとノイズが出ます。初期値は5です。

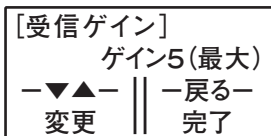
0~9



●受信ゲイン*

敢えて受信感度を悪くすることで、至近距離で使用中の無線機やノイズなどが原因の通信障害を低減します。自動は強い信号を検知して作動しますが誤動作もあります。狭いエリアで多数の無線機を使う環境に向けた機能です。初期値はゲイン5 (最大) です。

自動 / ゲイン 1 (最小) / ゲイン 2 /
ゲイン 3 / ゲイン 4 / ゲイン 5 (最大)



■通知 / 警告設定

●ベル機能

信号を受信したときにベル音とアイコンを点滅させて知らせます。初期値はオフです。

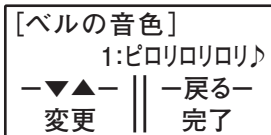
オフ / オン



●ベルの音色*

ベル機能のベルの音色を設定します。3種類の中から選択できます。初期値は1です。

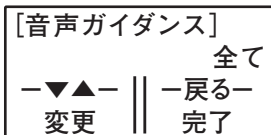
1: ピロロロロロ♪ / 2: プルルッ プルッ♪ / 3: ピピッピピッ♪



●音声ガイダンス

音声ガイダンスの動作条件を選択します。初期値は全てです。

オフ/CH案内のみ/音量案内のみ/CH+音量案内/操作案内のみ/全て



参考

「音声ガイダンス」をオフに設定していても「Bluetooth」がオンになっていると「ペアリング中です」、「接続されました」と音声案内をしますが、異常ではありません。

●減電池警告*

電池の残量が少なくなると警告音でお知らせする機能です。初期値は1回のみです。

オフ / 1回のみ / 30秒ごと / 1分ごと / 2分ごと / 5分ごと / 10分ごと



●送信制限警告*

送信制限の5分が近いことをお知らせする機能です。

30秒前: 「ビビビ」

5秒前: 「ピー」

初期値はオンです。

オフ / オン



●受信低下通知

受信中の信号レベルが低下すると
ビーブ音で警告します。
初期値はオフです。

オフ / やや弱い時 / 弱い時 / かなり弱い時



●イヤホン断線検出

電源を入れたときに、イヤホンが
断線していたらビーブ音、音声、
インジケーターで知らせる機能で
す。
初期値はオフです。

オフ / オン



●ビジーアラーム

ビジーアラームの動作条件を選択
します。(P.59)
初期値はオフです。

オフ / 1 ~ 30 秒ごと / 入感時と
消感時



■表示設定

●バックライトタイマー

バックライトを何秒後に消灯する
か選択します。
初期値は5秒です。

消灯 / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 60 秒
/ 常灯



●コントラスト*

ディスプレイの濃さを見やすくな
るように変更できます。初期値は
8です。

1 ~ 10



●CH非表示

液晶表示の内容を他人に見られないように隠す機能です。設定時間がたつとCHや呼び出し設定の内容が消え、「— — —」が表示されます。「短縮」キーを押すと再表示します。初期値はオフです。

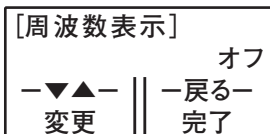
オフ / 5秒 / 10秒 / 30秒 / 60秒



●周波数表示*

CH表示の代わりに周波数を表示する機能です。チャンネル番号も小さく表示されます。初期値はオフです。

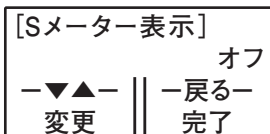
オフ / オン



●Sメーター表示*

待受画面の下部に受信信号強度のSメーターを表示します。一部のアイコンは表示されなくなります。初期値はオフです。

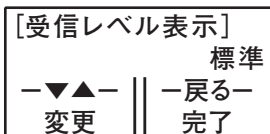
オフ / オン



●受信レベル表示*

受信レベルを表示するアンテナマーク及びSメーターの動作する信号の種類を選択します。「標準」では目的の信号のみ、「拡張」ではノイズを含めたすべての信号レベルを表示します。初期値は標準です。

標準 / 拡張



■ 操作音設定

● ビープ音量

ビープ音量を設定します。オフにするとPTTビープやエンドピーも鳴らなくなります。初期値はレベル2です。

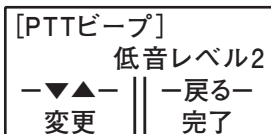
オフ / ボリューム連動 / レベル1
～レベル4



● PTT ビープ

「PTT」キーを押すと「ピッ」と鳴り、鳴り終わってから話すことで頭切れを防ぎます。相手には音は聞こえません。初期値は低音レベル2です。

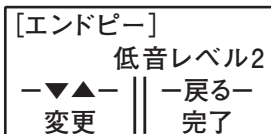
オフ / 低音レベル1 / 高音レベル1 / 低音レベル2 / 高音レベル2 / 低音レベル3 / 高音レベル3



● エンドピー

相手が話し終わったことを「ピッ」音で合図します。聞きたい側で設定します。送信側が出す音ではありません。初期値は低音レベル2です。

オフ / 低音レベル1 / 高音レベル1 / 低音レベル2 / 高音レベル2 / 低音レベル3 / 高音レベル3 / エンドピー

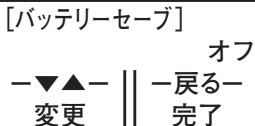


■ 電源設定

● バッテリーセーブ

本体内部で電源を短い間隔でオンオフさせることで、待受中の消費電力を抑えバッテリーを長持ちさせる機能です。初期値はオフです。

オフ / オン



参考

デジタル通信では、無線機は自分の交信相手かどうか等を確認するデータを毎回発信します。バッテリーセーブ中にこの信号を受けると認識できず、呼び出し自体を無視することがあります。このため、特に業務ユーザーはこの設定をオフにしておくことをお勧めします。

● オートパワーオフ

電源の切り忘れを防ぐ機能です。無操作の状態が設定された時間続くと、自動的に電源が切れます。初期値はオフです。

オフ / 30分 / 1時間 / 2時間
/ 3時間 / 4時間 / 5時間 / 6時間



■ 各種動作設定

● 上空用 CH 受信 *

上空用 CH(S1 ~ S15) を受信する機能です。初期値はオフです。

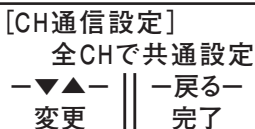
オフ / オン



● CH 通信設定 *

ユーザーコード、秘話コードとタイプ、送信出力を全 CH で一括設定するか、CH ごとにするかを選べます。初期値は全 CH で一括設定です。

全 CH で共通設定 / 各 CH で個別設定



◎BT 時 PTT 設定 **

アプリ無線接続時、「PTT」キーでの送信を無線送信（簡易無線）・アプリ送信（アプリ）・両方で同時に送信（簡易無線&アプリ）の3つから選べます。初期値は無線送信です。



無線送信 / アプリ送信 / 同時送信

◎BT 中継機能 **

簡易無線とアプリ無線を中継する機能です。オンに設定すると常に中継、切替に設定すると「戻る」キーを押すと中継、再度「戻る」キーを押すごとに中継をオン/オフします。初期値はオフです。



オフ / オン / 切替

◎BT 音声検出値 **

アプリ無線は一定の大きさを超える音声を検出したときに、スピーカー出力されますが、その検出値を調整することができます。音声途切れる場合はマイナス側へ、無音状態でも検出する場合はプラス側へ設定してください。初期値は0です。



-9 ~ 0 ~ +9

注意 無音状態でも検出する設定値で中継機能をオンにすると、音声ありと判断して中継動作を行います。ただし、Bluetooth 未接続状態を除きます。

●プライベートCH設定

プライベートCHを設定します。初期値はCH01です。



CH01 ~ CH82 / 上空 S1 ~ 上空 S15

●短縮キー動作

短縮キーに任意の機能を割り当てる
ことができます。
初期値はオフです。

オフ / モニター / サブ PTT / 直通
個別 PTT / スキャン / 送信出力切
替 / 緊急 / プライベート CH /
音量固定・連動 / 最終録音再生 /
BT 時 PTT 設定切替 /
アプリ無線 PTT / 秘話コード切替 /
応答キー

[短縮キー動作]

オフ
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

●戻る長押動作

「戻る」キーを長押しで任意の機能
を割り当てるができます。
初期値はキーロックです。

キーロック / スキャン / 送信出力
切替 / プライベート CH / 音量固
定・連動 / 最終録音再生 / BT 時
PTT 設定切替 / 秘話コード切替 /
応答キー / オフ

[戻る長押動作]

キーロック
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

●▲▼同時押動作

「▲ / ▼」キーを同時に押した時に
任意の機能を割り当てる事ができ
ます。
初期値はオフです。

オフ / スキャン / 送信出力切替 /
プライベート CH / 音量固定・連
動 / 最終録音再生 / BT 時 PTT 設
定切替 / 秘話コード切替 / 応答キー

[▲▼同時押動作]

オフ
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

●サブ PTT 出力

「短縮」キーにサブ PTT 機能を割
り当てたときの送信出力を設定し
ます。初期値は 1W です。

1W/2W/5W

[サブ PTT 出力]

1W
-▼▲- || -戻る-
変更 || 完了

● **スキャンタイプ***

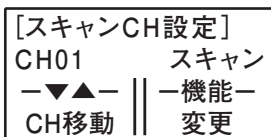
受信して止まったスキャンの再開条件です。ビジーは受信終了後、タイマーは受信してから設定した秒数経過したらスキャンを再開します。初期値はビジーです。



ビジー / タイマー 5 秒 / タイマー
10 秒 / タイマー 20 秒 / タイマー
30 秒 / タイマー 60 秒

● **スキャン CH 設定***

不要な CH を飛ばして (スキップ) 指定した CH だけをスキャンできます。「▼/▲」キーで CH を指定、「機能」キーでスキップを選択します。初期値は全ての CH をスキャンします。



スキャン / スキップ

● **スキャン速度***

スキャン速度を変更できます。初期値は標準です。



標準 / 高速



参考

- 標準…1CH あたり 0.25 秒でスキャンします。スケルチ設定値未満の信号でもデジタル簡易無線の信号を検出することができます。
- 高速…1CH あたり 0.03 秒でスキャンします。スケルチ設定値以上の信号を検出した場合のみデジタル簡易無線の信号を検出することができます。

※どちらの設定でも、スケルチ設定値以上の信号を検出した場合 0.5 秒止まりますが異常ではありません。

● **外部音量設定**

SP/MIC 端子から出力する音量を 3 段階で選べます。初期値は音量中です。



音量小 / 音量中 / 音量大

● 音量の調整方法

音量ツマミの位置に関係なく音量を固定化する機能です。初期値はボリューム連動です。

ボリューム連動 / 設定値に固定

[音量の調整方法]

ボリューム連動

-▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

● 固定音量レベル

前述の「音量の調整方法」で固定する音量レベルを選択します。初期値は 16 です。

0 ~ 32

[音量固定レベル]

16

-▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

● 最大音量レベル *

音量ツマミの位置に関係なく音量の上限を決める機能です。初期値は 32 です。

0 ~ 32

[最大音量レベル]

32

-▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

● 最小音量レベル *

音量ツマミの位置に関係なく音量の下限を決める機能です。初期値は 0 です。

0 ~ 32

[最小音量レベル]

0

-▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

● 接客モード

接客モードの動作条件を選択します。初期値はオフ(使わない)です。

オフ / ハンド / タッチ / ボイス

[接客モード]

オフ

-▼▲- || -戻る-
 変更 || 完了

●接客ボイス感度

接客モードのボイスで、受信音量を小さくさせるときの声の大きさを設定します。
数値が大きいかほど小さな声にも反応します。初期値は4です。

[接客ボイス感度]

4

—▼▲— || —戻る—
変更 完了

オフ / 1: 大声で動作～ 7: 小声で動作



参考

環境音が大きいか場所では数値を小さく設定してお試しください。この調整をしても騒音に反応して誤動作するような場所ではボイスモードはお使いになれません。

●接客タッチ感度

接客モードのタッチで、受信音量を小さくさせるときのタッチの強さを設定します。「高い」は軽く叩くだけで反応します。
初期値は標準です。

[接客タッチ感度]

標準

—▼▲— || —戻る—
変更 完了

低い / 標準 / 高い

●接客復帰時間

接客モードのハンドとタッチで受信音量を小さくしたときの継続時間を設定します。
初期値は15秒です。

[接客復帰時間]

15秒

—▼▲— || —戻る—
変更 完了

5秒 / 10秒 / 15秒 / 30秒 / 60秒



参考

設定した時間が経過すると自動で元の音量に戻ります。

●接客ボイス保持

接客モードのボイスで自分の話し声が無くなった後、何秒後に元の音量に戻るかを選択します。
初期値は3秒です。

[接客ボイス保持]

3秒

—▼▲— || —戻る—
変更 完了

1～5秒 (1秒ステップ)

◎ Bluetooth

アプリ無線接続用スマートフォンと接続できます。
初期値はオンです。

オフ / オン



■ デュアルオペレーション *

● 動作設定 *

デュアルオペレーション機能を使うかどうか選択します。
初期値はオフです。

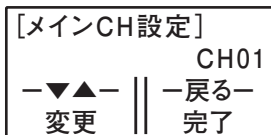
オフ / オン



● メイン CH 設定 *

デュアルオペレーションで使用するメイン CH を設定します。
初期値は CH01 です。

CH01 ~ CH82 / 上空 S1 ~ 上空 S15



● サブ CH 設定 *

デュアルオペレーションで使用するサブ CH を設定します。
初期値は CH02 です。

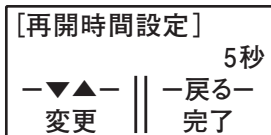
CH01 ~ CH82 / 上空 S1 ~ 上空 S15



● 再開時間設定 *

デュアルオペレーションで受信終了後に動作再開するまでの時間を設定します。
初期値は 5 秒です。

1 秒 ~ 10 秒 (1 秒ステップ)



● CH 切替間隔 *

メイン CH とサブ CH の切替間隔を設定します。
初期値は 0.5 秒です。

0.5 秒～ 2.0 秒 (0.1 秒ステップ)

[CH切替間隔]

0.5秒

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

■ 緊急動作設定 *

● 受信の許可禁止 *

緊急通信を受信するかどうか選択します。
初期値は禁止です。

禁止 / 許可

[受信の許可禁止]

禁止

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

● 警報音のみ *

緊急動作の警報音を何秒動作させるか設定します。
初期値はオフです。

オフ / 1 秒～ 60 秒 (1 秒ステップ)

[警報音のみ]

オフ

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

● 警報音 + 発報 *

緊急動作の警報音 + 発報を何秒動作させるか設定します。
初期値は 30 秒です。

オフ / 1 秒～ 60 秒 (1 秒ステップ)

[警報音 + 発報]

30秒

—▼▲— || —戻る—
変更 || 完了

●**発報のみ***

緊急動作の発報を何秒動作させるか設定します。初期値はオフです。

オフ / 1 秒～ 60 秒 (1 秒ステップ)

[発報のみ]		オフ
-▼▲-		-戻る-
変更		完了

●**音声送信***

緊急動作の音声送信を何秒動作させるか設定します。初期値はオフです。

オフ / 1 秒～ 60 秒 (1 秒ステップ)

[音声送信]		オフ
-▼▲-		-戻る-
変更		完了

●**受信動作***

緊急動作の受信動作を何秒動作させるか設定します。初期値はオフです。

オフ / 1 秒～ 60 秒 (1 秒ステップ)

[受信動作]		オフ
-▼▲-		-戻る-
変更		完了

●**繰り返し回数***

緊急動作を何回繰り返すか設定します。初期値は無制限です。

無制限 / 1 回～ 60 回 (1 回ステップ)

[繰り返し回数]		無制限
-▼▲-		-戻る-
変更		完了

●**再発報条件***

緊急動作後の再発報条件を設定します。初期値は一度のみです。

一度のみ / 状態検出時 / 状態変化時

[再発報条件]		一度のみ
-▼▲-		-戻る-
変更		完了

●警報音量（内部）*

内部スピーカーの警報音量を選択します。初期値は最大です。

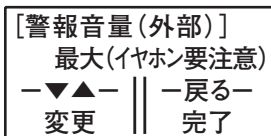
ビープ音量と同じ / ボリューム連動 / レベル 1～レベル 4 / 最大



●警報音量（外部）*

SP/MIC 端子から出力する警報音量を選択します。初期値は最大（イヤホン要注意）です。

ビープ音量と同じ / ボリューム連動 / レベル 1～レベル 4 / 最大（イヤホン要注意）



■ショックセンサー機能*

●動作モード*

ショックセンサーの動作モードを設定します。振動検出モードの場合は「短縮」キーを押すと10秒後に動作を開始します。初期値はオフです。

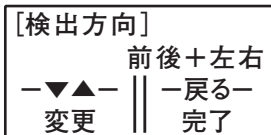
オフ / 転倒検出モード / 振動検出モード



●検出方向*

転倒検出モードで検出する傾斜方向を設定します。初期値は前後＋左右です。

左右 / 上下 / 上下＋左右 / 前後 / 前後＋左右 / 上下＋前後 / 全方向



● 傾斜判定角度 *

転倒検出モードで検出する傾斜角度を設定します。初期値は 70.1° です。

0.0° ~ 90.0°



● 傾斜判定時間 *

転倒検出モードで検出判定されるまでの時間を設定します。初期値は 30 秒です。

0 秒 ~ 250 秒 (1 秒ステップ)



● 衝撃判定強度 *

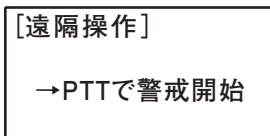
振動検出モードで検出判定される衝撃の強さを設定します。初期値は 0.11G です。

0.05G ~ 1.98G



● 遠隔操作 *

「PTT」キーを押して通信相手の振動検出モードを動作状態にする機能です。
通信相手がショックセンサーの動作モードを設定している必要があります。



■ 温度センサー機能 *

● 温度表示 *

本機内部の温度を待受画面に表示させる機能です。初期値はオフです。

オフ / オン



● **高温警報***

本機内部の温度が設定値以上になったときに警報を鳴らす機能です。初期値はオフです。

オフ / -20℃以上～+60℃以上
(5℃ステップ)



● **低温警報***

本機内部の温度が設定値以下になったときに警報を鳴らす機能です。初期値はオフです。

オフ / -20℃以下～+60℃以下
(5℃ステップ)



■ **機器情報**

機種名、CSM 番号、シリアル番号を表示させる機能です。



PC 編集機能

別売の ERW-23 (または ERW-7 ケーブルと EDS-14 変換ケーブル) と無償の専用編集ソフト (Clone Utility) を使えばチャンネル、各種コード、セットモードの編集、保存、書き込みや設定データの管理ができます。またリセットの禁止、ショートメッセージの内容変更やチャンネル番号の代わりに文字表示ができるなど、本体ではできないプログラミングが可能になります。

詳細は弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.alinco.co.jp/> > 電子事業部 > ダウンロード > 業務用無線機 (簡易無線・デジタルトランシーバー)

8

保守・参考

故障とお考えになる前に

「故障かな？」と思われたら、まず以下の「処置」をお読みください。マイク類や電池類などが原因の不具合も有りますので、必ずアクセサリも点検してください。設定の間違いなどはリセットをすると回復する場合がありますが、意図した設定まで初期化されるので注意が必要です。

症状	原因	処置
電源を入れても、ディスプレイに何も表示されない。	バッテリーパックが接触不良を起こしている。	端子の汚れを清潔で乾いた布や綿棒で拭って取り除く。
	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。
スピーカーから音が出ない。受信できない。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定する。
「ギャラギャラ」音が聞こえる。	「PTT」キーが押され、送信状態になっている。	「PTT」キーを離す。
	秘話コードが一致していない。	秘話コードを一致させる、もしくは送信側と受信側の秘話キーをOFFにする。
受信中に表示が点滅したり消えたりする。	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。
送信ができない。送信しても応答がない。	「PTT」キーが確実に押されていない。	「PTT」キーを押して、インジケータを赤く点灯させてから送信する。
	チャンネル（周波数）や通信設定が間違っている。	相手局と通信可能なチャンネル・設定に正しく合わせる。
	別のユーザーがチャンネルを使用している。	信号がなくなるのを待ってから送信する。
	出力が低く、相手に届いていない。	送信出力を今の設定よりも大きくする。
	「BT 時 PTT 設定」がアプリ送信になっている	「BT 時 PTT 設定」を無線送信に変更する。
送信ができない。送信すると、表示が点滅したり消えたりする。	バッテリーパックが消耗している。	バッテリーパックを充電する。

症状	原因	処置
チャンネル(周波数)が切替わらない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
	プライベートチャンネルになっている。	短縮動作のプライベートCH機能を使い、元のチャンネルに戻る。
キーによる操作ができない。	キーロックが設定されている。	キーロックの設定を解除する。
表示が異常になっている。	CPUが誤動作している。	リセットする。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取る。
充電スタンドの赤色ランプが点滅する。	充電スタンドの保護回路が働いている。	バッテリーパック単体で充電する。充電時、無線機の電源を切る。
アプリ無線が動作しない	お使いになるスマートフォンとペアリングされていない	ペアリング方法に従ってペアリングをする。
アプリ無線の受信音が小さい。または歪んで聞こえる。	ペアリングされているスマートフォンの音量設定が小さく、または大きくなりすぎている。	スマートフォンの音量設定をセンター付近に調整をする。

- 無線機の状態に異常があるとエラー表示が出ます。故障を示すエラー表示もあります。その際は、点検・修理が必要になりますので、「アフターサービスについて」をご覧ください。販売店または弊社サービスセンターにご相談ください。
- 自動車やバイクなど比較的速い速度で移動する局との通信やアンテナが揺れるような状態で使用すると通話が安定しないことがあります。これは電波伝搬上の理由によるもので異常ではありません。
- 秘話や個別・グループ呼出機能を使うと通話距離が若干短くなることがありますが、異常ではありません。
- 採用している防水パッキンなどの部品には寿命があります。メーカーによるIP68相当の耐塵防水性能の保証期間は同梱の保証書と同じです。外郭保護性能のメンテナンスに関するアフターサービスが必要な場合は、お買上げの販売店または弊社にお問い合わせください。最寄りの販売店の検索には、<https://www.alinco.co.jp>の「販売店のご案内」リンクをご利用ください。

- 静電気が溜まりやすい場所や服装でイヤホンやイヤホンマイクを装着するとき、耳に静電気ショックを感じる場合があります。ドアノブなどに触れて感じることもあるショックと同じで、漏電のような異常ではありません。
- 磁気カード類を無線機に近づけないでください。電磁波の影響でデータが消去される可能性があります。補償いたしかねますので、ご注意ください。

メンテナンス

定期的な清掃とメンテナンスをすると長く衛生的にお使いになれます。

- ボディとアンテナ
パソコンやデジタルカメラなどの精密機器の清掃器具は無線機にもお使いになれます。ブラシやプロアーでホコリを払い、除菌用ウエットティッシュ（湿りすぎていたら絞る）で手垢や汚れをふき取り、乾いた布で乾拭きしてください。電池端子部分はきれいな綿棒でぬぐいます。
- 外部マイク類
ケーブルは汗や脂で劣化しやすくなります。湿った布やウエットティッシュで汚れを落として乾燥させます。イヤホンパッドやマイクスポンジは定期的に新品と交換してください。

安定して通話できる一番遠い場所を探して決めておき、定期的に通話チェックすると不具合や劣化に気づきやすくなります。リチウムイオンバッテリーは3年、長くても5年を目処にお買い換えください。古いリチウムイオンバッテリーは使用時間が短くなり、内部ショートによる発熱、発火のリスクが高くなります。

アフターサービスについて

■保証書

保証書は購入店名、購入日の記入（または専用ステッカー貼付けなど）と、記載の製造番号をお確かめの上、一緒に大切に保管してください。記載がないときは販売店発行のレシート、納品書など購入店と購入日が証明できる書類と一緒に保存してください。購入店と購入日が証明できない場合は製品保証が無効となりますのでご注意ください。

■保証期間

同梱の保証書に記載されている期間です。

正常な使用状態で上記の期間中に万一の故障が生じた場合は、お手数ですが製品に有効な保証書を添えて、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。保証書の規定にしたがって無償修理いたします。

■保証期間が過ぎたら

お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。

アフターサービスや製品に関するよくあるご質問は「アルインコ 電子FAQ」をキーワードにネット検索してください。

ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社サービス窓口へご相談ください。

■製造終了製品に対する保守年限に関して

弊社では製造終了後も下記の期間、製品をお使い頂けるように最低限必要な補修用部品を常備しています。ただし不測・不可抗力の事態により在庫部品に異常が発生したような場合はアフターサービスをご提供できなくなることもありますので、あらかじめご了承ください。

補修部品の保有期間は、生産終了後 **5** 年です。

■注意事項

- ・改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りすることがあります。
- ・改造、分解されたり銘板やラベル類が剥がされた製品は、修理をお断りします。銘板を隠すシールや飾り類は修理の際、取り除くことがあります。
- ・修理見積や保険用の証明書類の発行は、一部有償です。

9

オプション一覧

EBP-198	リチウムイオンバッテリーパック (7.2V 2200mAh)
EBP-199	リチウムイオンバッテリーパック (7.2V 3200mAh)
EDC-194A	EDH-43 接続用シガーケーブル
EDC-326R	シングル充電スタンド (連結仕様)
EDC-215	AC アダプター (1 台充電用)
EDC-188	AC アダプター (連結充電用)
EMS-62	IP54 相当スピーカーマイク
EMS-71	IP67 相当防水スピーカーマイク (イヤホンジャック無し)
EME-32A	カナル型イヤホンマイク (PTT ロック付)
EME-48A	耳かけ型イヤホンマイク (PTT ロック付)
EME-62A	咽喉マイク
EME-63A	ヘルメット用ヘッドセット
EME-64A	ヘッドセット
EMS-514	IP67 防水スピーカーマイク
EDH-41	防水仕様 乾電池ケース
EDH-43	12V/24V 兼用外部電源アダプター
EHC-70	ハードケース
EA-248	ロングアンテナ
EA-247	ミドルアンテナ
EBC-46	ベルトクリップ
EBC-47	ステンレスベルトクリップ
EBC-50	フリーベルトクリップ
EBC-56	ショルダーベルト
EDS-14	2ピン型マイクプラグ変換ケーブル
ERW-7	パソコン接続用ケーブル (EDS-14 も必要です)
ERW-23	パソコン接続用ケーブル (4 極)

【ご注意】

- スピーカーマイクでは VOX 機能、PTT ホールド、ハンド以外の接客モードは使えません。ヘルメット用ヘッドセットはバイク用及び特殊形状のヘルメットには使えません。EDS-14 の 2 ピンプラグ連結部分は防水ではありません。
- 上記以外にも使用できるオプションのマイク類がありますが、レジャーやホビーユーザー向けの消耗品です。
業務でお使いのときは、必ず上記の業務仕様をお求めください。頑丈なうえ、故障しても修理ができます。

- EBP-198 は無線機に正しく装着された場合にのみ IP68 相当の耐塵防水保護が機能します。故障の原因に直結するので、単独の状態では絶対に水に濡らさないでください。

10

定格

■一般仕様

送受信周波数	351.200000 ~ 351.631250MHz(CH1 ~ CH70) 351.031250 ~ 351.100000MHz(CH71 ~ CH82)
受信専用周波数	351.106250 ~ 351.193750MHz (上空用チャンネル S6 ~ S15、S1 ~ S5)
電波型式	F1C F1D F1E F1F
アンテナインピーダンス	50 Ω
定格電圧	7.2V
消費電流	1.8A 以下 (送信時: 5W) 1.1A 以下 (送信時: 2W) 0.8A 以下 (送信時: 1W) 500mA 以下 (受信時) 150mA 以下 (待受時: Bluetooth オン)
外形寸法 (突起物除く) W × H × D	55.8 × 95.8 × 32.5mm EBP-198 装着時
質量 (ミドルアンテナ装着時)	約 244g (EBP-198 装着時)
使用温度範囲	- 20℃ ~ + 60℃
送信出力	5W/2W/1W (偏差: + 20%、- 50%)
変調方式	4 値 FSK
受信感度	- 5dB μV EMF 以下 (BER1 × 10 ⁻²)
低周波出力 (10%歪時)	700mW 以上

■参考

長さ	ミドルアンテナ 100mm ロングアンテナ 220mm	
充電時間		
EBP-198(2200mAh) 装着時	約 3 時間	
運用時間 (*1) Bluetooth オフ EBP-198(2200mAh) 装着時	バッテリーセーブ有効時 約 15 時間	バッテリーセーブ無効時 約 11.5 時間
運用時間 (*1) Bluetooth オン EBP-198(2200mAh) 装着時	バッテリーセーブ有効時 約 11 ~ 13 時間(*2)	バッテリーセーブ無効時 約 11 時間

(*1) 送信出力 5W 時、送信 5、受信 5、待受 90 の繰り返し。

(*2) アプリ受信中は、安定した受信のためバッテリーセーブが無効のなります。
そのため運用時間はアプリ受信状況により変動します。

11

付録

■設定初期値一覧表

- * マークが付いている項目は拡張セットモードの設定項目です。
 ** マークがついている項目は「Bluetooth」がオンになっている時のみ表示され設定できる項目です。

通信設定	
ユーザーコード	オフ
秘話コード	オフ
秘話タイプ	標準秘話
親機子機切替*	親機

個別設定	
個別通信動作	オフ
通信相手選択	全局
自局 ID	001
自局グループ	01
個別呼出切替*	オフ
グループ呼出切替*	オフ
全局呼出切替*	オフ
緊急相手選択*	全局
直通相手選択*	全局
▼ / ▲キー動作*	チャンネル選択

録音機能*	
録音データ一覧*	-
録音動作設定*	オフ
録音データ消去*	-
録音停止時間*	10 秒

ショートメッセージ機能*	
受信メッセージ一覧*	-
受信メッセージ消去*	-
メッセージ送信*	-
受信の許可禁止*	禁止
受信時自動表示*	オン

送信設定	
送信出力	5W
内部マイク感度	0dB
外部マイク感度	0dB
緊急時マイク感度*	0dB
PTT ホールド*	オフ
コールバック*	オフ
VOX 動作設定*	オフ
VOX 動作レベル*	4
ノイズキャンセル機能	オフ
ノイズ抑制機能*	オン
トーン抑制機能*	オフ

受信設定	
音量一定化	オフ
低音域抑制	オフ
高音域抑制	オフ
対象外受信*	オフ
スケルチ*	5
受信ゲイン*	ゲイン 5

通知 / 警告設定	
ベル機能	オフ
ベルの音色*	1
音声ガイダンス	全て
減電池警告*	1 回のみ
送信制限警告*	オン
受信低下通知	オフ
イヤホン断線検出	オフ
ビジーアラーム	オフ

表示設定	
バックライトタイマー	5 秒
コントラスト *	8
CH 非表示	オフ
周波数表示 *	オフ
S メーター表示 *	オフ
受信レベル表示 *	標準

操作音設定	
ビーブ音量	レベル 2
PTT ビープ	低音レベル 2
エンドビー	低音レベル 2

電源設定	
バッテリーセーブ	オフ
オートパワーオフ	オフ

各種動作設定	
上空用 CH 受信 *	オフ
CH 通信設定 *	全ての CH で共通設定
BT 時 PTT 設定 **	無線送信
BT 中継機能 **	オフ
BT 音声検出値 **	0
プライベート CH 設定	CH01
短縮キー動作	オフ
戻る長押動作	キーロック
▲▼同時押動作	オフ
サブ PTT 出力	1 W
スキャンタイプ *	ビジー
スキャン CH 設定 *	スキャン (全 CH)
スキャン速度 *	標準
外部音量設定	音量中
音量の調整方法	ボリューム連動
固定音量レベル	16
最大音量レベル *	32
最小音量レベル *	0
接客モード	オフ

各種動作設定	
接客ボイス感度	4
接客タッチ感度	標準
接客復帰時間	15 秒
接客ボイス保持	3 秒
Bluetooth	オン

デュアルオペレーション *	
動作設定 *	オフ
メイン CH 設定 *	CH01
サブ CH 設定 *	CH02
再開時間設定 *	5 秒
CH 切替感覚 *	0.5 秒

緊急動作設定 *	
受信の許可禁止 *	禁止
警報音のみ *	オフ
警報音 + 発報 *	30 秒
発報のみ *	オフ
音声送信 *	オフ
受信動作 *	オフ
繰り返し回数 *	無制限
再発報条件 *	一度のみ
警報音量 (内部) *	最大
警報音量 (外部) *	最大 (イヤホン要注意)

ショックセンサー機能 *	
動作モード *	オフ
検出方向 *	前後 + 左右
傾斜判定角度 *	70.1°
傾斜判定時間 *	30 秒
衝撃判定強度 *	0.11 G
遠隔操作 *	-

温度センサー機能 *	
温度表示 *	オフ
高温警報 *	オフ
低温警報 *	オフ

- 仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
- 本書の説明用イラストは、実物とは状態や形状が異なる、一部の表示を省略している、等の場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。



アルインコ株式会社 電子事業部

支店・営業所とサービスセンター (SC)

東京	〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル 14階	TEL.03-3278-5888
名古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番24号 いちご丸の内サウスビル 3階	TEL.052-212-0541
大阪/SC	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル 13階	TEL.06-7636-2361
福岡	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル 2階	TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店またはフリーダイヤル ☎0120-464-007

全国どこからでも無料でサービス窓口につながります。

受付時間 / 月曜～金曜 10:00～17:00 (土日祝・休業日と12:00～13:00は除きます。)

ホームページ <https://www.alinco.co.jp/> > 事業案内 > 電子事業部 をご覧ください。

本製品の機種名は DJ-DPS72W です。製造番号や CSM 番号はバッテリーバックを外すとご覧になれません。

Copyright Alinco, Inc. Printed in Japan

PS1111
FNFH-NG